

犯罪統計書

静岡県 の犯罪

平成30年

静岡県警察本部

凡 例

- 1 この統計書は、犯罪統計規則（昭和40年9月16日 国家公安委員会規則第4号）及び犯罪統計細則（昭和46年10月6日警察庁訓令第16号）に基づき、平成30年中に県下各警察署から報告された犯罪統計原票をもとに、警察庁及び静岡県警察本部の電子計算システムにより分析集計した統計表を分類整理し、集録したものである。
- 2 本書の件数、人員の計上方法は、次のとおりである。
 - (1) 件 数
原則として被疑者の行為数によって計上している。ただし、1人が数件又は数人が数件の行為を犯した場合で、一定の条件に該当するときは、包括1件とする等の計上方法をとっている。
 - (2) 人 員
同一人が数罪を犯し、又は数人が数罪を犯した場合は、法定刑の最も重い罪（法定刑が同じときは主たる罪）につき、1人又は数人として計上している。
- 3 予備罪等の一定の犯罪については、次のような計上方法をとっている。
 - (1) 未遂罪及び予備罪は、それぞれの既遂の本罪に含めている。（殺人予備罪を除く。）
 - (2) 盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律第2条、3条及び第4条に規定する犯罪は、その行為態様に応じ強盗又は窃盗の罪に含めている。
 - (3) 暴力行為等処罰ニ関スル法律第1条、第1条ノ2及び第1条ノ3に規定する罪は、その行為態様に応じ暴行、傷害、脅迫又は器物損壊の罪に含めている。
- 4 本書における用語等の意義は、次のとおりである。
 - (1) 刑 法 犯 刑法（交通関係の業務上過失致死傷を除く。）、爆発物取締罰則、決闘罪ニ関スル件、暴力行為等処罰ニ関スル法律、盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律、航空機の強取等の処罰に関する法律、火炎びんの使用等の処罰に関する法律、航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律、人質による強要行為等の処罰に関する法律、流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法、サリン等による人身被害の防止に関する法律、組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律、公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律及び公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金提供等の処罰に関する法律に規定する罪をいう。
 - (2) 特 別 法 犯 刑法犯及び交通法令違反以外の罪（条例に規定するものを含む。）をいう。
 - (3) 包 括 罪 種 刑法犯のうち、被害法益、犯罪態様等の観点から類似性の強い罪種を包括した分類名称をいう。
なお、包括罪種の名称及び内訳罪名は、別表のとおりである。
 - (4) 重要犯罪・重要窃盗犯 治安情勢を観察する場合において、統計上、その指標となる犯罪として掲げるものをいう。
 - ア 重要犯罪…殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつの各罪種をいう。
 - イ 重要窃盗犯…窃盗犯のうち侵入窃盗、自動車盗、ひったくり及びすりの各手口をいう。
 - (5) 認 知 件 数 警察において発生を認知した事件の数をいう。
 - (6) 検 挙 件 数 警察において検挙した事件（解決事件を含む。）を送致、送付又は微罪の処分をした件数をいう。
 - (7) 解 決 件 数 検挙警察署を問わず自署で認知した事件を検挙し処理した件数をいう。
 - (8) 検 挙 人 員 警察において検挙した事件の被疑者（解決事件に係る者を除く。）の数をいう。
 - (9) 補 導 人 員 警察において触法少年として補導した少年の数をいう。

- (10)解決事件 刑法犯として認知され、既に統計上計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないこと、その他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件をいう。
- (11)犯罪少年 犯行時及び処理時の年齢が14歳以上20歳未満の少年をいう。
- (12)触法少年 刑罰法令に触れる行為をした小学校就学年齢以上14歳未満の少年（ただし、殺人、放火、傷害又は強制わいせつに当たる行為を行った未就学児童を含む。）をいう。
- (13)既届(事件) 犯罪発生について、警察が認知する以前に、被害者又はその代理人等から自発的に警察に対し届出があったこと（事件）をいう。
- (14)成人事件・少年事件・成人少年共犯事件 成人事件とは20歳以上の者が犯した事件を、少年事件とは14歳以上20歳未満の者が犯した事件をいい、両者の共犯事件を成人少年共犯事件という。
- (15)送致件数・送致人員 特別法犯において事件を送致（送付）した件数・被疑者数をいう。
- (16)特別な名称について
- ア 嬰児殺…1歳未満の乳児を殺害（未遂を含む。）したものをいう。
- イ 侵入窃盗…犯罪手口資料取扱細則（昭和57年2月18日警察庁訓令第2号）別表第2「犯罪手口分類基準表」にいう侵入窃盗をいう。
- ウ 乗り物盗…犯罪手口分類基準表にいう自動車盗・オートバイ盗・自転車盗をいう。
- エ 非侵入窃盗…侵入窃盗及び乗り物盗を除いた窃盗をいう。
- オ 検挙率…認知件数に対する検挙件数（解決事件を含む。）の割合を百分比（%）で表したものをいう。
$$\frac{\text{検挙件数（解決事件を含む。）}}{\text{認知件数}} \times 100$$
- カ 犯罪率…人口千人に対する犯罪の認知件数の割合をいう。（人口は、平成30年1月1日現在の住民基本台帳人口による。）
- キ 負担率…警察官1人当たりに対する犯罪の認知件数の割合をいう。
- ク 来日外国人…我が国にいる外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）、在日米軍関係者及び在留資格不明者以外の者をいう。
- ケ 他機関引継…出入国管理及び難民認定法（昭和26年政令第319号）違反の被疑者につき同法第62条件数・人員 第2項の規定により入国審査官若しくは入国警備官への通報をしたとき又は同法第65条第1項の規定により入国警備官への身柄の引渡しをしたものをいう。

5 警察署再編に伴い

- ・水窪警察署は、平成19年3月31日まで
- ・蒲原警察署は、平成20年3月31日まで
- ・森警察署は、平成23年3月31日まで
- ・松崎警察署は、平成25年3月31日まで
- ・袋井警察署は、平成23年4月1日から
- ・裾野警察署は、平成25年4月1日から

の数値をそれぞれ計上している。

6 その他

- (1) この統計書に使用されている年次は、すべて暦年である。
- (2) 符号「-」は、皆無又は該当数字のないもの。
- (3) この統計書の図表における構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

別 表

包括罪種・罪種の名称及び内訳罪名一覧表

(包括罪種)	(罪 種)	(内 訳 罪 名)
凶悪犯	殺	人……殺人罪、嬰兒殺、殺人予備罪、自殺関与罪
	強盗	……強盗殺人罪(致死を含む。)、強盗傷人罪、強盗強制性交等罪 (致死を含む。)、強盗罪、準強盗罪(事後強盗、昏睡強盗)
	放火	……放火罪、消火妨害罪
	強制性交等	……強制性交等罪、強制性交等致死傷罪、集団強制性交等罪、 集団強制性交等致死傷罪
粗暴犯	凶器準備集合	……凶器準備集合罪、凶器準備結集罪
	暴行	……暴行罪
	傷害	……傷害罪、傷害致死罪、現場助勢罪
	脅迫	……脅迫罪、強要罪
	恐喝	……恐喝罪
窃盗犯	窃 盗	
知能犯	詐欺	……詐欺罪、準詐欺罪
	横領	……横領罪、業務上横領罪
	偽造	……通貨偽造罪、文書偽造罪、支払用カード偽造罪、有価証券偽造罪、 印章偽造罪
	汚職	……賄賂罪(収賄罪・贈賄罪)、職権濫用罪(致死傷を含む。)
	あっせん利得	……あっせん利得罪、利益供与罪
	背任	……背任罪
風俗犯	賭博	……普通賭博罪、常習賭博罪、賭博開張等罪
	わいせつ	……強制わいせつ罪(致死傷を含む。)、公然わいせつ罪、わいせつ物頒布等罪
その他の刑法犯	—————	上記以外の刑法犯 (占有離脱物横領罪、公務執行妨害罪、住居侵入罪、器物損壊罪等)

※刑法等の一部を改正する法律が平成29年7月13日より施行されたことにより、強姦から強制性交等へ変更となった。

平成30年 静岡県 of 犯罪

目 次

凡 例

平成30年の犯罪概況

第1 刑 法 犯	1
1 認 知 状 況	1
(1) 刑 法 犯 総 括	1
(2) 重 要 犯 罪	3
(3) 重 要 窃 盗 犯	5
(4) 罪種別にみた認知状況	7
ア 凶 悪 犯	7
イ 粗 暴 犯	9
ウ 窃 盗 犯	11
(ア) 侵 入 窃 盗	13
(イ) 乗 り 物 盗	14
(ウ) 非 侵 入 窃 盗	15
エ 知 能 犯	16
オ 風 俗 犯	18
カ その他の刑法犯	20
(5) 警察署別 認知状況	22
(6) 月 別 発生状況	24
(7) 曜 日 別 発生状況	25
(8) 時間帯別 発生状況	26
2 犯罪の被害状況	28
(1) 死 傷 者	28
(2) 財産犯の被害	29
3 検 挙 状 況	30
(1) 重 要 犯 罪	30
(2) 重 要 窃 盗 犯	32
(3) 包括罪種別にみた検挙状況	34
ア 凶 悪 犯	34
イ 粗 暴 犯	34
ウ 窃 盗 犯	35

エ 知 能 犯	35
オ 風 俗 犯	36
(4) 犯行の動機・原因別検挙状況	36
第2 特別法犯	37
第3 少年犯罪	40
1 犯罪少年	40
(1) 刑法犯検挙状況	40
(2) 刑法犯犯罪少年の年齢・学職別状況	42
(3) 特別法犯検挙状況	43
2 触法少年	44
(1) 刑法犯補導状況	44
(2) 特別法犯補導状況	45
第4 暴力団犯罪	46
1 暴力団犯罪検挙状況	46
2 包括罪種別検挙状況	47
3 特別法犯主要違反法令別検挙状況	48
第5 覚せい剤事犯	49
1 覚せい剤事犯検挙状況	49
2 男女別検挙状況	50
3 少年検挙状況	50
第6 来日外国人犯罪	51
第7 刑法犯統計表	
総 合 表	
1 罪種別 認知・解決・検挙件数及び検挙補導人員	53
2 窃盗手口別 認知・検挙件数及び検挙補導人員	55
3 殺人・強盗・恐喝・詐欺・性的犯罪手口別 認知・検挙件数及び検挙補導人員	56
4 警察署別 認知・検挙件数及び検挙補導人員	57
5 罪種別 警察署別 認知件数	58
6 罪種別 警察署別 検挙件数	59
7 罪種別 警察署別 検挙人員	60
8 罪種別 警察署別 犯罪少年 検挙人員	61
9 罪種別 警察署別 触法少年 補導人員	62
10 罪種別 認知・検挙件数（前年比較）	63
11 罪種別 検挙・補導人員（前年比較）	64
12 警察署別 認知・検挙件数（前年比較）	65
13 警察署別 検挙・補導人員（前年比較）	66

14	罪種別 月別 認知・検挙件数	67
15	罪種別 月別 検挙・補導人員	69
認知・検挙状況表		
16	包括罪種別 警察署別 認知件数（前年比較）	71
17	窃盗犯 警察署別 認知・検挙件数	73
18	窃盗手口別 警察署別 認知・検挙件数	74
19	罪種別 認知の端緒別 認知件数	81
20	窃盗手口別 認知の端緒別 認知件数	82
21	罪種別 月別 発生件数	83
22	窃盗手口別 月別 発生件数	84
23	罪種別 時間帯・曜日別 発生件数	85
24	窃盗手口別 時間帯・曜日別 発生件数	86
25	罪種別 発生場所別 認知件数	87
26	窃盗手口別 発生場所別 認知件数	90
27	財産犯 被害額・被害回復額及び被害品別 認知・解決件数	93
28	財産犯 警察署別 被害額・被害回復額及び回復率	96
29	財産犯 被害程度別 認知件数	97
30	窃盗手口別 被害程度別 認知件数	98
31	罪種別 被害者の職業別 認知件数	100
32	罪種別 被害者の年齢・性別 認知件数	103
33	罪種別 被害者の世帯構成別 認知件数	105
34	侵入強盗・侵入窃盗 侵入手段別 認知件数	106
35	器物損壊 損壊器物・損壊状況別 認知件数	107
36	特定罪種別 犯罪供用物別 認知件数	108
37	特定罪種別 犯罪供用物別 検挙件数	109
38	罪種別 主たる被疑者の犯行時の年齢別 検挙件数	110
39	窃盗手口別 主たる被疑者の犯行時の年齢別 検挙件数	111
40	罪種別 被疑者と被害者との関係別 検挙件数	112
41	罪種別 主たる被疑者特定の端緒別 検挙件数（警察活動）	113
42	罪種別 主たる被疑者特定の端緒別 検挙件数（民間協力等）	114
43	窃盗手口別 主たる被疑者特定の端緒別 検挙件数（警察活動）	115
44	窃盗手口別 主たる被疑者特定の端緒別 検挙件数（民間協力等）	116
45	罪種別 主たる被疑者特定の端緒を得た係別 検挙件数	117
46	窃盗手口別 主たる被疑者特定の端緒を得た係別 検挙件数	118
47	罪種別 主たる被疑者の逃走時の交通手段別 検挙件数	119
48	窃盗手口別 主たる被疑者の逃走時の交通手段別 検挙件数	120

49	罪種別 成人・少年事件及び共犯形態別 検挙件数	121
50	窃盗手口別 成人・少年事件及び共犯形態別 検挙件数	122
51	罪種別 犯行の動機・原因別 検挙件数	123

被 疑 者 状 況 表

52	罪種別 年齢別 検挙・補導人員	125
53	窃盗手口別 年齢別 検挙・補導人員	127
54	包括罪種別 犯行時の居住地（市区町）別 検挙人員	129
55	罪種別 犯行時の職業別 検挙人員	131
56	窃盗手口別 犯行時の職業別 検挙人員	134
57	罪種別 精神障害等の有無別 検挙人員	137
58	罪種別 身柄措置・送致別 検挙人員	138
59	窃盗手口別 身柄措置・送致別 検挙人員	139
60	罪種別 初犯者・再犯者及び再犯者の前回処分別 検挙人員	140
61	罪種別 前科数別 検挙人員（成人）	142
62	窃盗手口別 前科数別 検挙人員（成人）	143
63	罪種別 被疑者特定の端緒を得た係別 検挙人員	144
64	窃盗手口別 被疑者特定の端緒を得た係別 検挙人員	145

少 年 関 係 表

65	罪種別 学職別 犯罪・触法少年 検挙・補導人員	147
66	窃盗手口別 学職別 犯罪・触法少年 検挙・補導人員	149
67	包括罪種（手口）別 非行時間帯別 犯罪・触法少年 検挙・補導人員	151
68	非行の動機・原因別 犯罪少年 検挙人員（直接の動機・原因）	152
69	非行の動機・原因別 犯罪少年 検挙人員（背景、父親・母親の態度等）	153
70	非行の動機・原因別 触法少年 補導人員（直接の動機・原因）	154
71	非行の動機・原因別 触法少年 補導人員（背景、父親・母親の態度等）	155
72	非行場所別 犯罪少年 検挙人員	156
73	非行場所別 触法少年 補導人員	157
74	両親の状態・母の不在状況 犯罪少年 検挙人員	158
75	両親の状態・母の不在状況 触法少年 補導人員	160
76	在学・学歴別 犯罪少年 検挙人員	162
77	罪種別 被疑者特定の端緒を得た係別 犯罪少年検挙人員	163
78	窃盗手口別 被疑者特定の端緒を得た係別 犯罪少年検挙人員	164
79	補導歴・非行歴別 犯罪少年 検挙人員	165
80	補導歴・非行歴別 触法少年 補導人員	166

第 8 特別法犯統計表

81	違反法令別 検挙・送致件数及び送致人員等（前年比較）	167
----	----------------------------	-----

82	違反法令別	年齢・少年学職別	送致・補導人員	168
83	違反法令別	警察署別	検挙件数及び送致人員	170
84	麻薬・あへん・大麻・覚せい剤事犯		送致状況	173
85	銃砲刀剣類所持等取締法違反		送致状況	174
86	風営適正化法違反等		送致状況	175
87	売春関係事犯		送致状況	176
88	少年の福祉を害する犯罪	違反法令別	送致状況	177

第9 暴力団犯罪統計表

89	暴力団犯罪	罪種別	警察署別	検挙件数及び検挙人員	179
90	暴力団犯罪	違反法令別	警察署別	検挙件数及び送致人員	180

第10 外国人犯罪統計表

91	外国人犯罪	警察署別	罪種・違反法令別	検挙件数及び検挙人員(来日外国人)	181
92	外国人犯罪	国籍	罪種・違反法令別	検挙件数及び検挙人員(来日外国人)	182
93	外国人犯罪	警察署別	国籍別	検挙件数及び検挙人員(来日外国人)	183
94	外国人犯罪	警察署別	国籍別	入管法違反 他機関引継被疑者取扱人員(来日外国人)	184

第11 参 考 資 料

95	刑法犯	認知件数(都道府県別)	185		
96	都道府県別	重要犯罪	認知・検挙状況(全国順位)	186	
97	都道府県別	重要窃盗犯	認知・検挙状況(全国順位)	187	
98	重要犯罪	警察署別	年次別	認知・検挙状況	188
99	重要窃盗犯	警察署別	年次別	認知・検挙状況	189
100	刑法犯	警察署別	年次別	認知・検挙状況	190
101	窃盗犯	警察署別	年次別	認知・検挙状況	191
102	特別法犯	警察署別	年次別	検挙状況	192
103	過去30年間における	刑法犯・窃盗犯の認知・検挙状況	193		

平成30年の犯罪概況

平成30年の犯罪概況

第1 刑法犯

1 認知状況

(1) 刑法犯総括

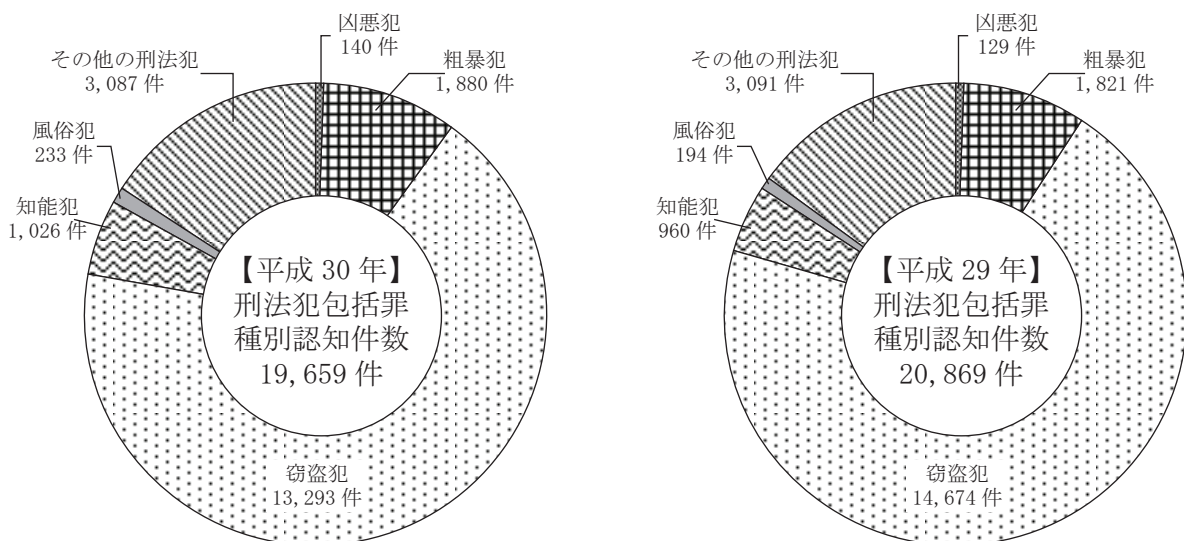
本年中に発生を認知した刑法犯の件数は19,659件である。

これを包括罪種別にみると、第1表のとおり、窃盗犯が13,293件で全体の67.6%を占めている。以下、粗暴犯1,880件（9.6%）、知能犯1,026件（5.2%）、風俗犯 233件（1.2%）、凶悪犯140件（0.7%）の順となっている。

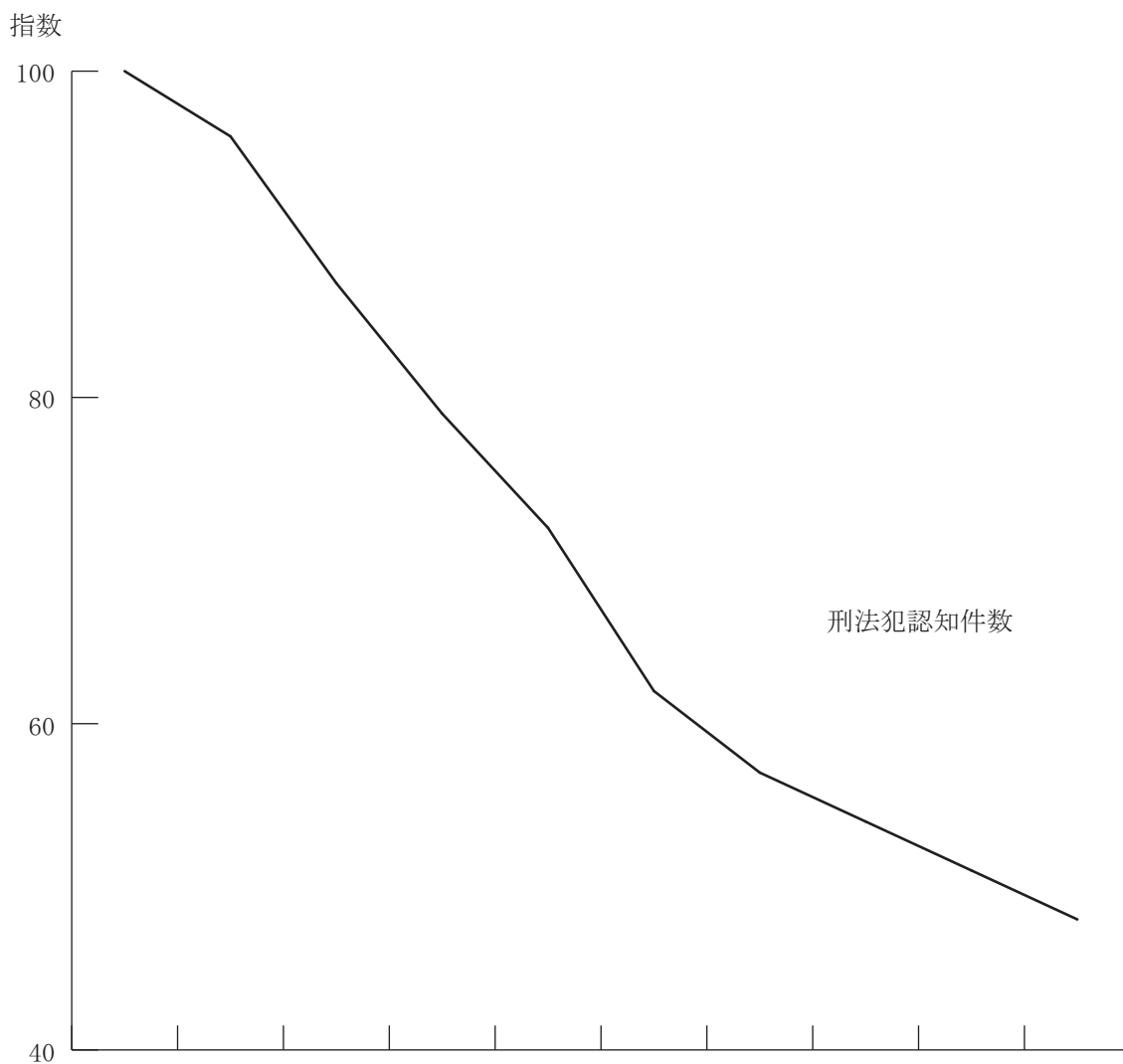
第1表 刑法犯包括罪種別認知件数表（前年比較）

罪 種	平成30		平成29		増 減	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	%
総 数	19,659	100.0	20,869	100.0	-1,210	-5.8
凶 悪 犯	140	0.7	129	0.6	11	8.5
粗 暴 犯	1,880	9.6	1,821	8.7	59	3.2
窃 盗 犯	13,293	67.6	14,674	70.3	-1,381	-9.4
知 能 犯	1,026	5.2	960	4.6	66	6.9
風 俗 犯	233	1.2	194	0.9	39	20.1
その他の刑法犯	3,087	15.7	3,091	14.8	-4	-0.1

過去10年間における刑法犯認知件数の推移は、第1図のとおりである。



第1図 刑法犯認知件数の推移（10年間）



年次	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
刑法犯認知件数	(100) 41,069	(96) 39,451	(87) 35,900	(79) 32,396	(72) 29,395	(62) 25,601	(57) 23,480	(54) 22,097	(51) 20,869	(48) 19,659

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

(2) 重要犯罪（殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買及び強制わいせつ）

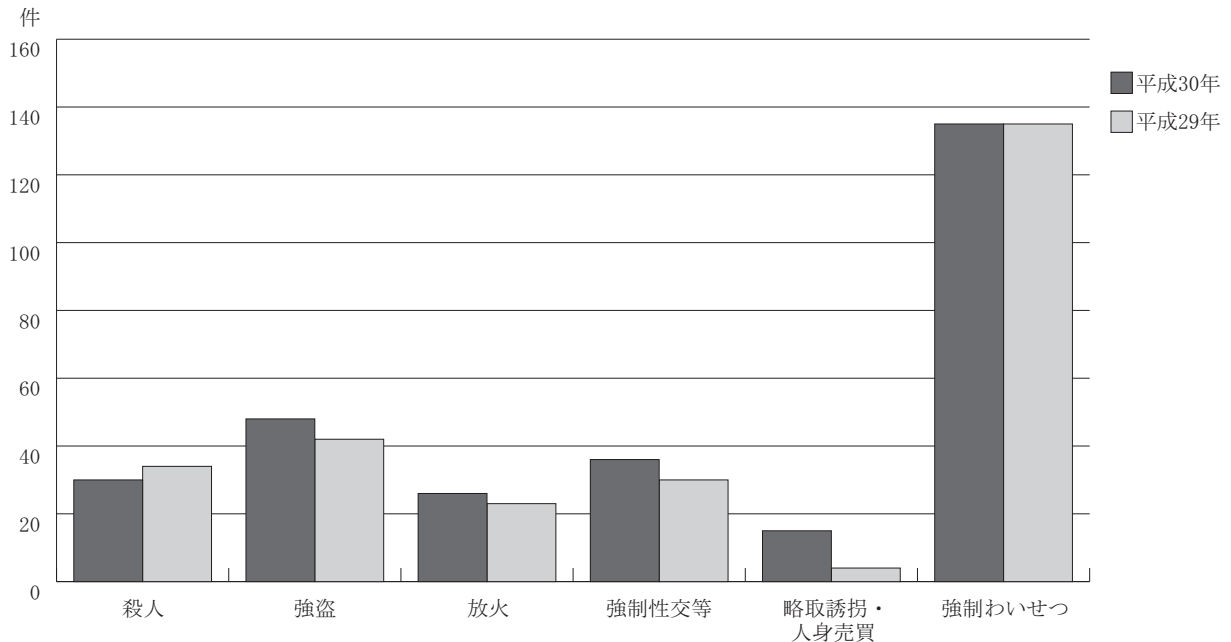
本年中の重要犯罪の認知件数は290件で、対前年比22件（8.2%）増加した。

罪種別認知件数を前年と比べると、第2表のとおりで、「強盗」、「放火」、「強制性交等」、「略取誘拐・人身売買」は増加し、「強制わいせつ」は同数、「殺人」は減少した。

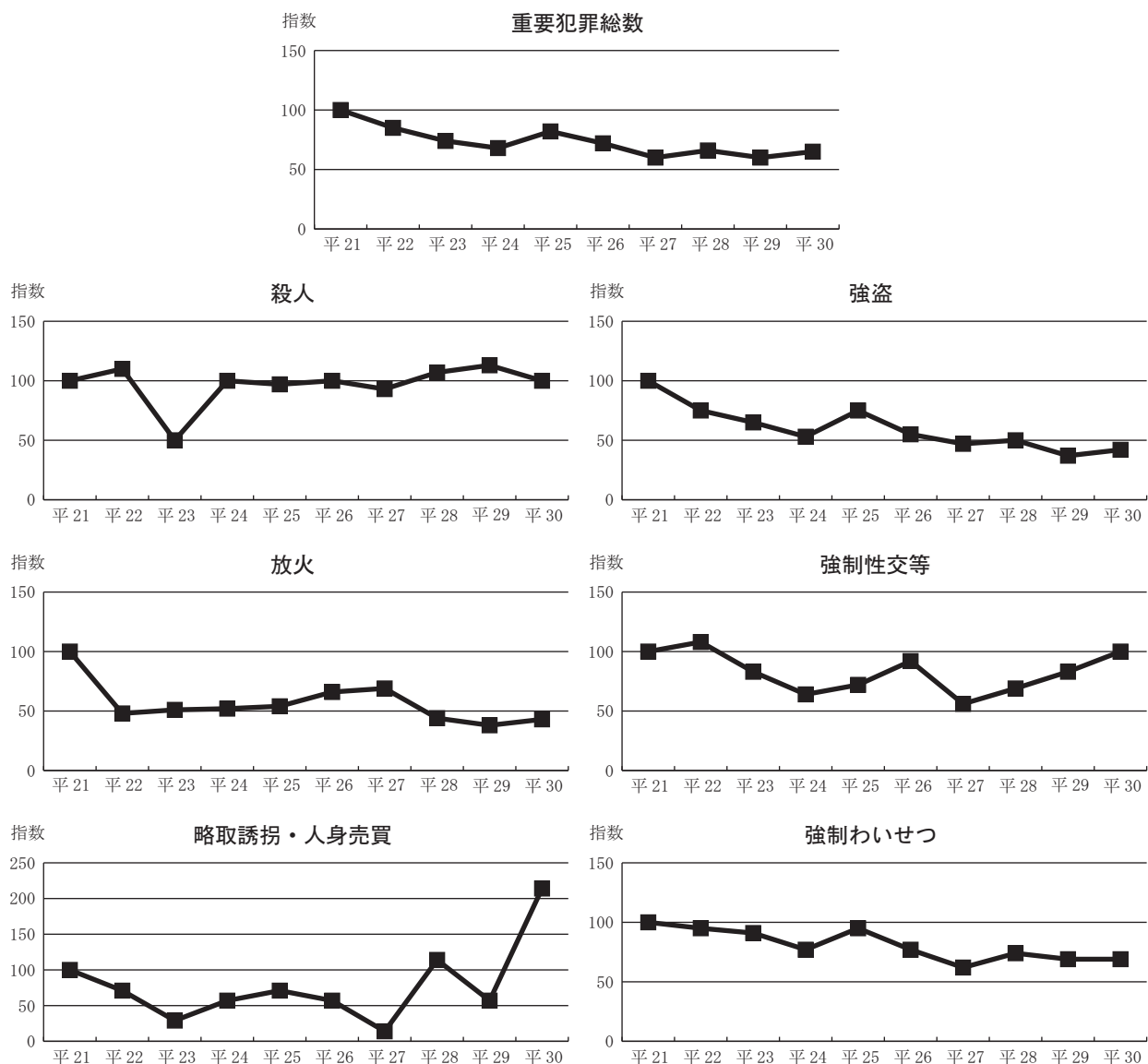
過去10年間における重要犯罪認知件数の推移は、第2図のとおりである。

第2表 重要犯罪認知件数表（前年比較）

罪種	平成30	平成29	増減	
			件数	%
総数	290	268	22	8.2
殺人	30	34	-4	-11.8
強盗	48	42	6	14.3
放火	26	23	3	13.0
強制性交等	36	30	6	20.0
略取誘拐・人身売買	15	4	11	275.0
強制わいせつ	135	135	-	-



第2図 重要犯罪認知件数の推移（10年間）



年次 総数・罪種	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
重要犯罪総数	(100) 444	(85) 377	(74) 330	(68) 301	(82) 365	(72) 320	(60) 265	(66) 293	(60) 268	(65) 290
殺人	(100) 30	(110) 33	(50) 15	(100) 30	(97) 29	(100) 30	(93) 28	(107) 32	(113) 34	(100) 30
強盗	(100) 115	(75) 86	(65) 75	(53) 61	(75) 86	(55) 63	(47) 54	(50) 57	(37) 42	(42) 48
放火	(100) 61	(48) 29	(51) 31	(52) 32	(54) 33	(66) 40	(69) 42	(44) 27	(38) 23	(43) 26
強制的性交等	(100) 36	(108) 39	(83) 30	(64) 23	(72) 26	(92) 33	(56) 20	(69) 25	(83) 30	(100) 36
略取誘拐・ 人身売買	(100) 7	(71) 5	(29) 2	(57) 4	(71) 5	(57) 4	(14) 1	(114) 8	(57) 4	(214) 15
強制わいせつ	(100) 195	(95) 185	(91) 177	(77) 151	(95) 186	(77) 150	(62) 120	(74) 144	(69) 135	(69) 135

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

(3) 重要窃盗犯（侵入窃盗、自動車盗、ひったくり及びすり）

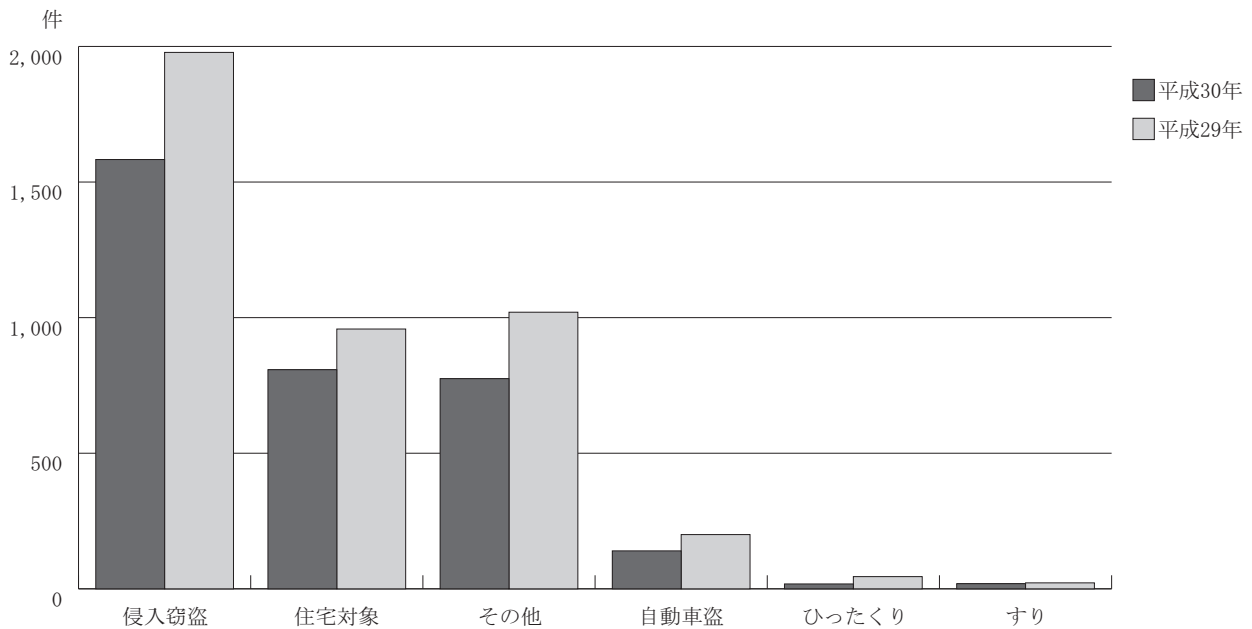
重要窃盗犯の認知件数は1,760件で、対前年比485件（21.6%）減少した。

手口別認知件数をみると、第3表のとおりで、「侵入窃盗」、「自動車盗」、「ひったくり」、「すり」のすべてが減少した。

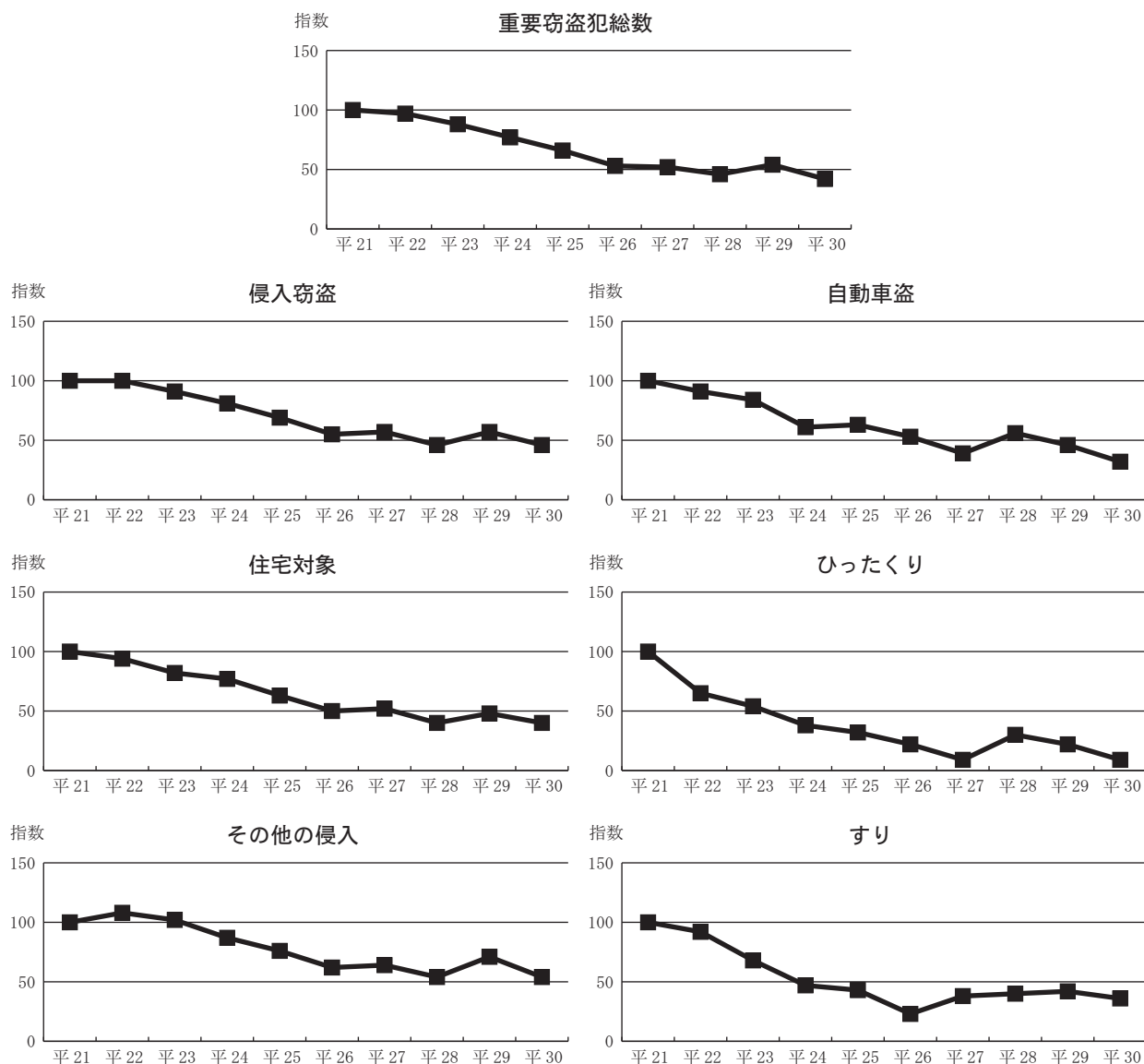
過去10年間における重要窃盗犯認知件数の推移は、第3図のとおりである。

第3表 重要窃盗犯認知件数表（前年比較）

手 口	平 成 30	平 成 29	増 減	
			件 数	%
総 数	1,760	2,245	-485	-21.6
侵 入 窃 盗	1,583	1,978	-395	-20.0
住 宅 対 象	808	958	-150	-15.7
そ の 他	775	1,020	-245	-24.0
自 動 車 盗	140	200	-60	-30.0
ひ っ た く り	18	45	-27	-60.0
す り	19	22	-3	-13.6



第3図 重要窃盗犯認知件数の推移（10年間）



年次 総数・手口	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
重要窃盗犯総数	(100) 4,143	(97) 4,021	(88) 3,645	(77) 3,176	(66) 2,739	(53) 2,189	(52) 2,174	(46) 1,912	(54) 2,245	(42) 1,760
侵入窃盗	(100) 3,453	(100) 3,445	(91) 3,135	(81) 2,807	(69) 2,376	(55) 1,901	(57) 1,967	(46) 1,586	(57) 1,978	(46) 1,583
住宅対象	(100) 2,012	(94) 1,894	(82) 1,658	(77) 1,559	(63) 1,276	(50) 1,011	(52) 1,038	(40) 805	(48) 958	(40) 808
その他の侵入	(100) 1,441	(108) 1,551	(102) 1,477	(87) 1,252	(76) 1,100	(62) 890	(64) 929	(54) 781	(71) 1,020	(54) 775
自動車盗	(100) 436	(91) 396	(84) 366	(61) 267	(63) 276	(53) 232	(39) 169	(56) 244	(46) 200	(32) 140
ひったくり	(100) 201	(65) 131	(54) 108	(38) 77	(32) 64	(22) 44	(9) 18	(30) 61	(22) 45	(9) 18
すり	(100) 53	(92) 49	(68) 36	(47) 25	(43) 23	(23) 12	(38) 20	(40) 21	(42) 22	(36) 19

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

(4) 罪種別にみた認知状況

刑法犯の主要罪種別の認知状況は、次のとおりである。

ア 凶 悪 犯

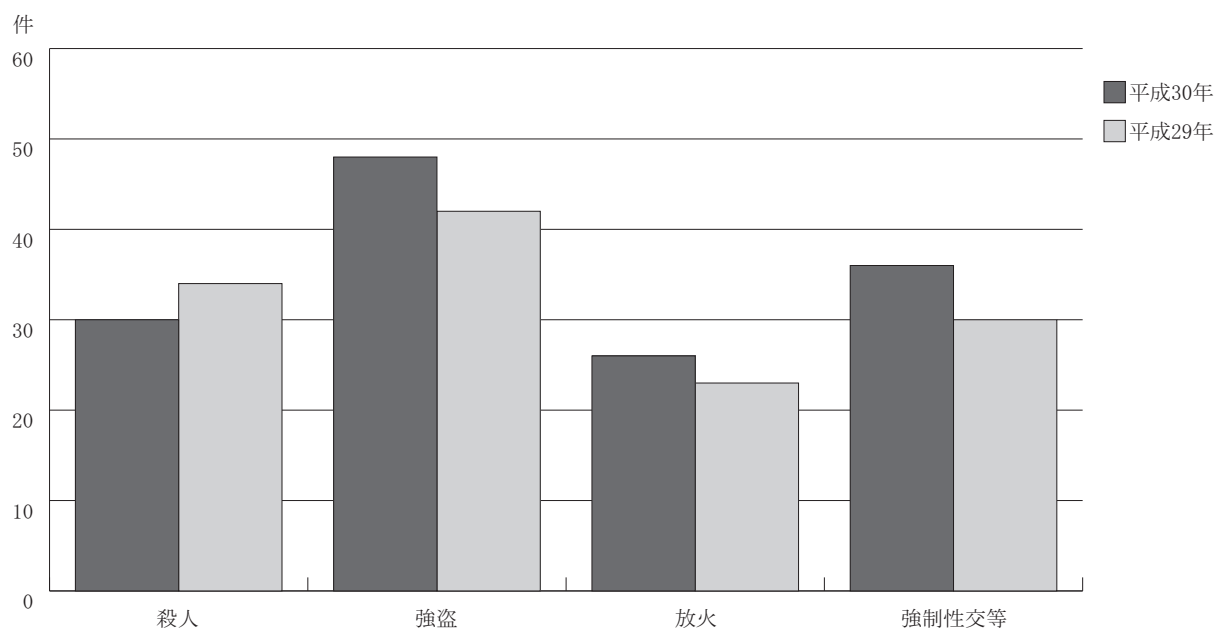
認知件数は140件で、対前年比11件（8.5％）増加した。

これを各罪種別にみると第4表のとおりで、「強盗」、「放火」、「強制性交等」が増加し、「殺人」は減少した。

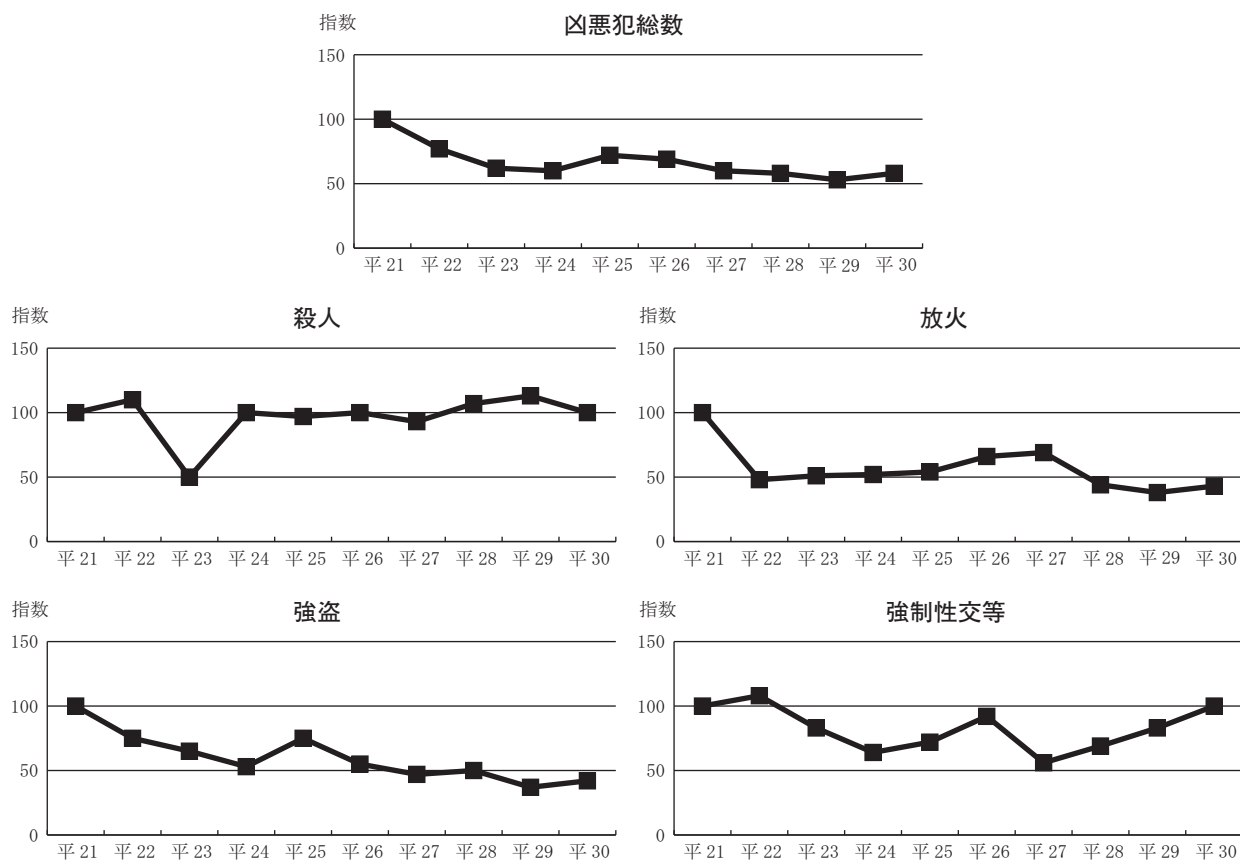
過去10年間における凶悪犯認知件数の推移は、第4図のとおりである。

第4表 凶悪犯認知件数表（前年比較）

罪 種	平 成 30	平 成 29	増 減	
			件 数	%
総 数	140	129	11	8.5
殺 人	30	34	-4	-11.8
強 盗	48	42	6	14.3
放 火	26	23	3	13.0
強 制 性 交 等	36	30	6	20.0



第4図 凶悪犯認知件数の推移（10年間）



年次 総数・罪種	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
凶悪犯総数	(100) 242	(77) 187	(62) 151	(60) 146	(72) 174	(69) 166	(60) 144	(58) 141	(53) 129	(58) 140
殺人	(100) 30	(110) 33	(50) 15	(100) 30	(97) 29	(100) 30	(93) 28	(107) 32	(113) 34	(100) 30
強盗	(100) 115	(75) 86	(65) 75	(53) 61	(75) 86	(55) 63	(47) 54	(50) 57	(37) 42	(42) 48
放火	(100) 61	(48) 29	(51) 31	(52) 32	(54) 33	(66) 40	(69) 42	(44) 27	(38) 23	(43) 26
強制性交等	(100) 36	(108) 39	(83) 30	(64) 23	(72) 26	(92) 33	(56) 20	(69) 25	(83) 30	(100) 36

注 ()内は、平成21年を100とした指数を示す。

イ 粗 暴 犯

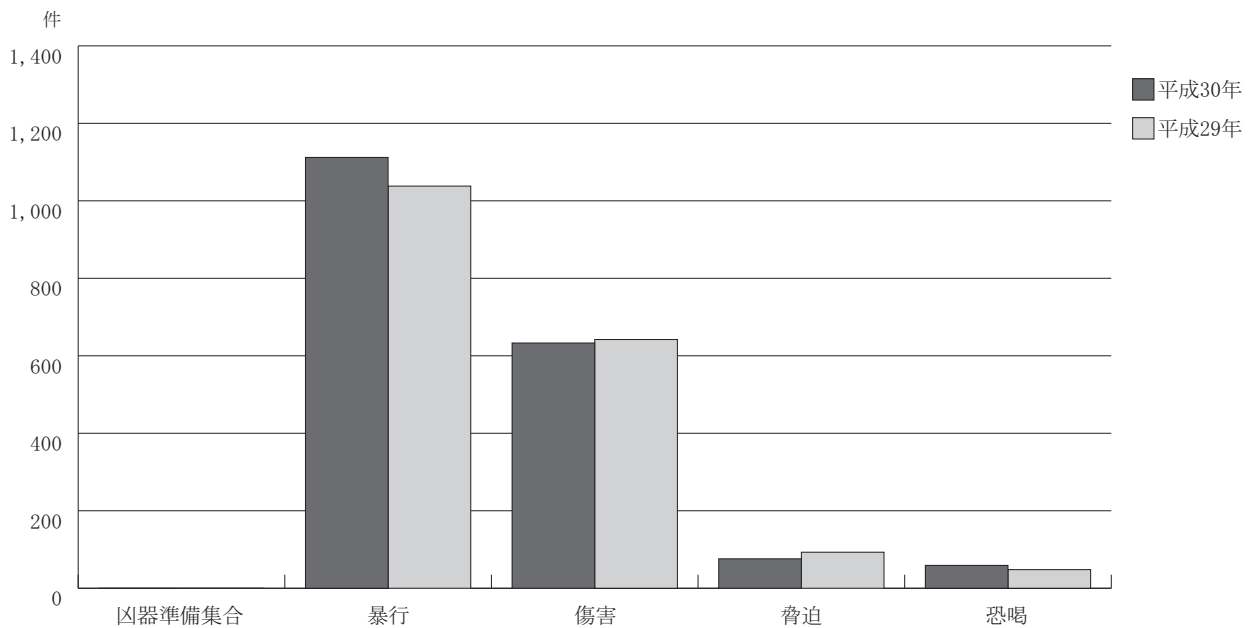
認知件数は1,880件で、対前年比59件（3.2%）増加した。

これを各罪種別にみると第5表のとおりで、「暴行」、「恐喝」が増加し、「傷害」、「脅迫」は減少した。

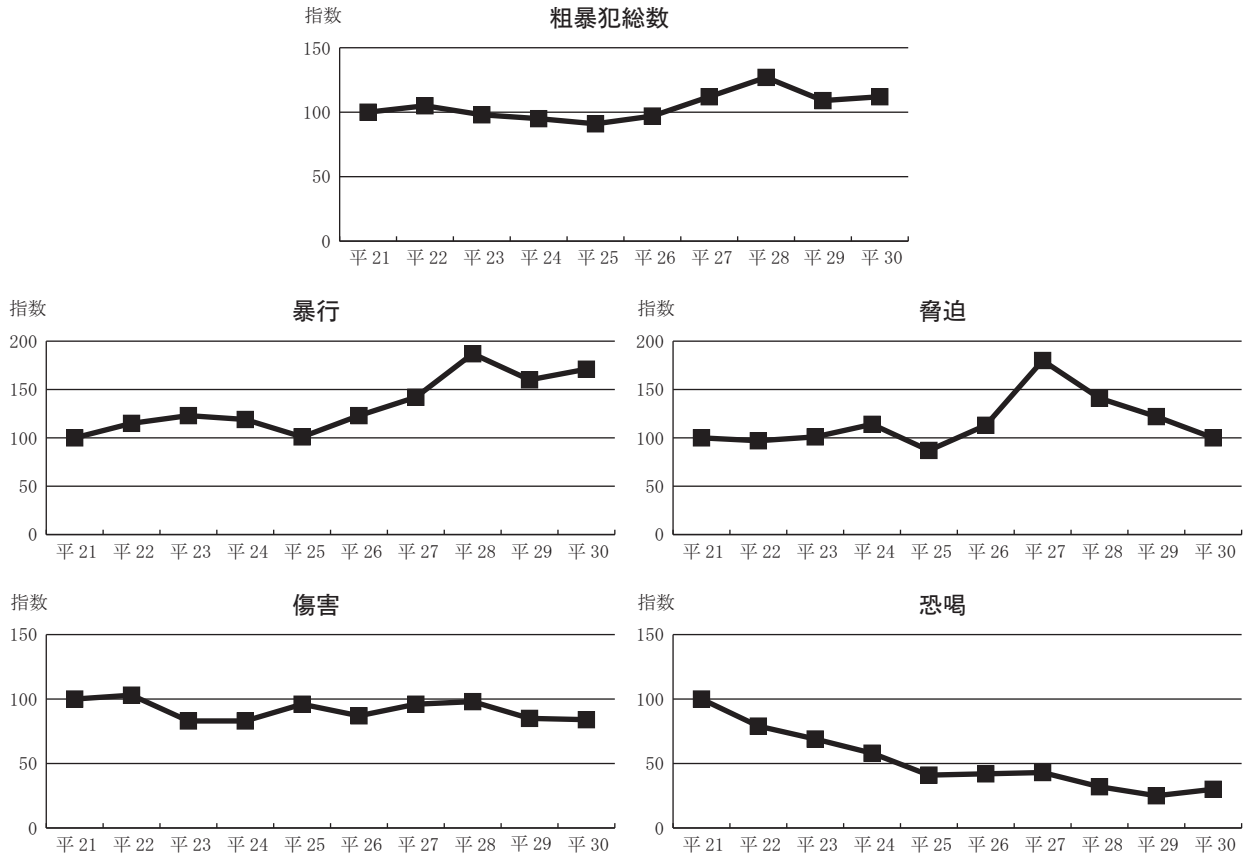
過去10年間における粗暴犯認知件数の推移は、第5図のとおりである。

第5表 粗暴犯認知件数表（前年比較）

罪 種	平 成 30	平 成 29	増 減	
			件 数	%
総 数	1,880	1,821	59	3.2
凶 器 準 備 集 合	—	—	—	—
暴 行	1,112	1,038	74	7.1
傷 害	633	642	−9	−1.4
脅 迫	76	93	−17	−18.3
恐 喝	59	48	11	22.9



第5図 粗暴犯認知件数の推移（10年間）



年次 総数・罪種	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
粗暴犯総数	(100) 1,676	(105) 1,757	(98) 1,642	(95) 1,597	(91) 1,530	(97) 1,629	(112) 1,874	(127) 2,126	(109) 1,821	(112) 1,880
うち) 暴行	(100) 650	(115) 750	(123) 802	(119) 772	(101) 657	(123) 800	(142) 926	(187) 1,215	(160) 1,038	(171) 1,112
うち) 傷害	(100) 756	(103) 779	(83) 630	(83) 626	(96) 727	(87) 661	(96) 727	(98) 741	(85) 642	(84) 633
うち) 脅迫	(100) 76	(97) 74	(101) 77	(114) 87	(87) 66	(113) 86	(180) 137	(141) 107	(122) 93	(100) 76
うち) 恐喝	(100) 194	(79) 154	(69) 133	(58) 112	(41) 80	(42) 82	(43) 84	(32) 63	(25) 48	(30) 59

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

ウ 窃 盗 犯

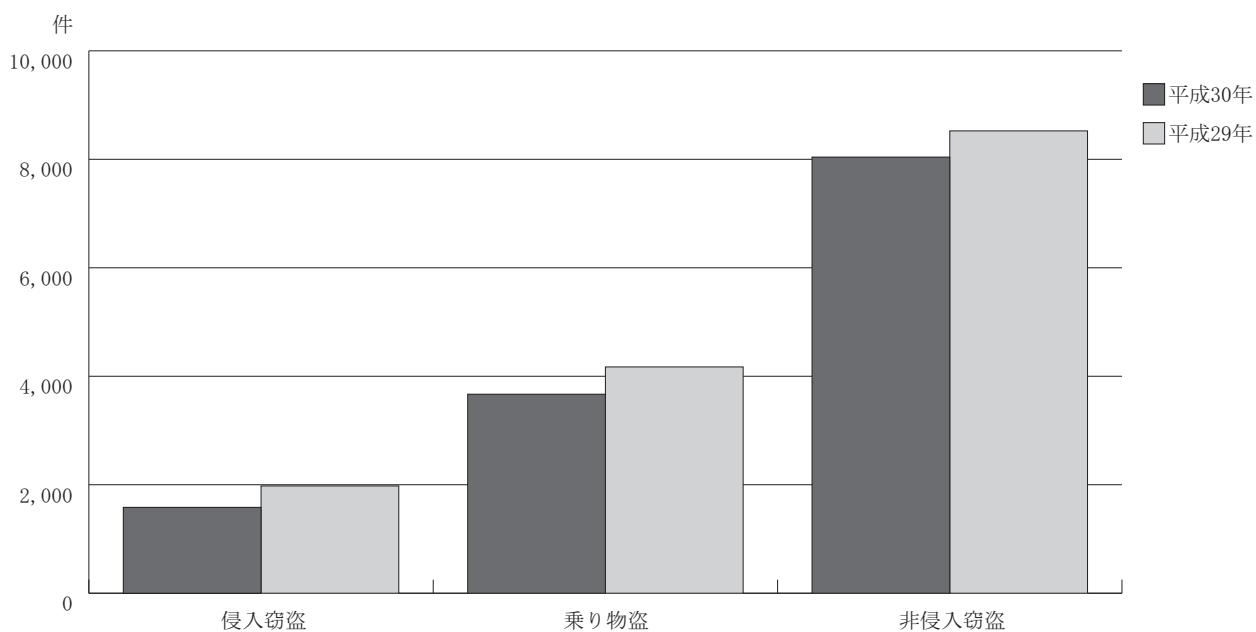
窃盗犯の認知件数は13,293件で、対前年比1,381件（9.4％）減少した。

これを手口別にみると第6表のとおりである。

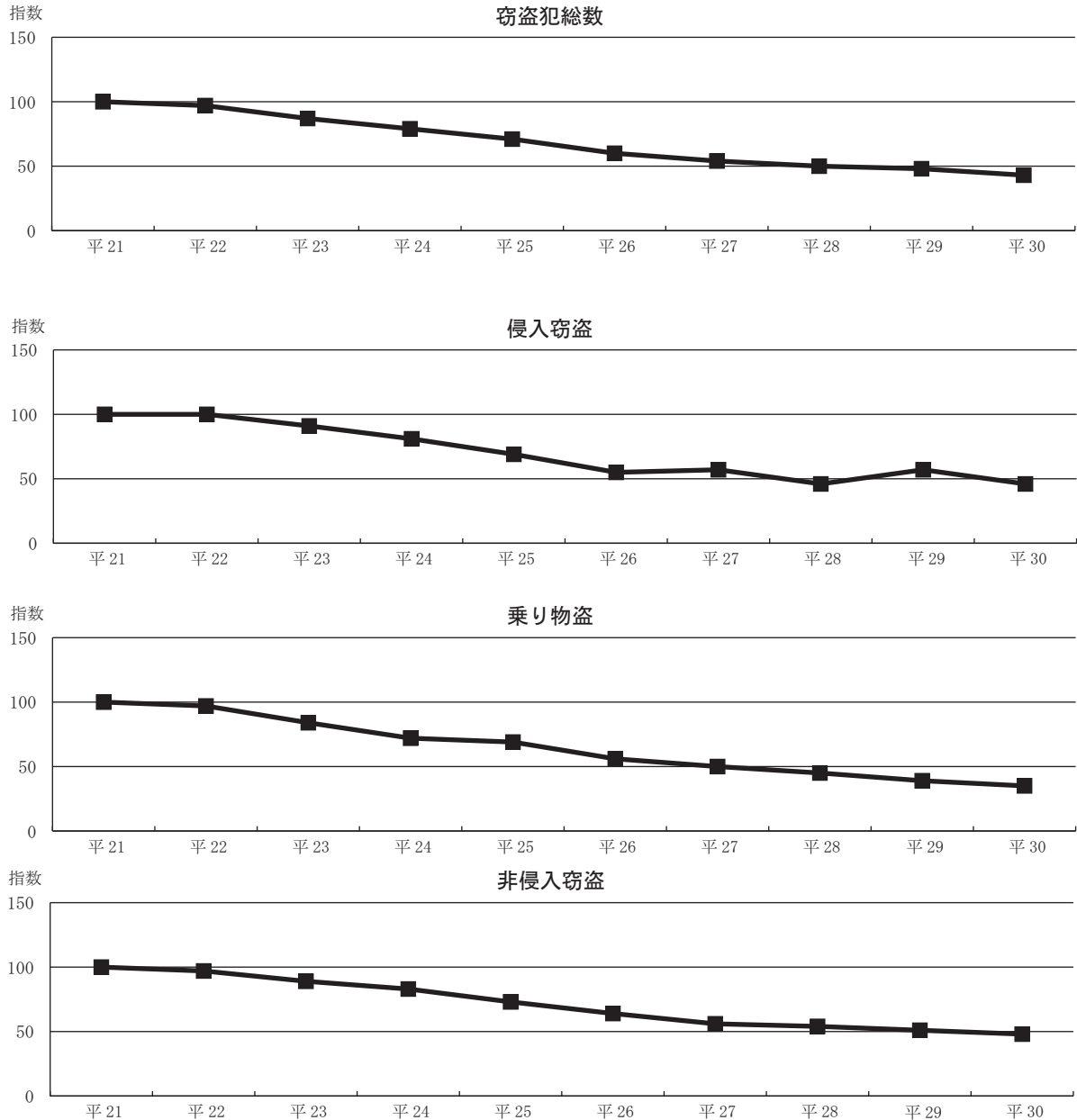
過去10年間における窃盗犯認知件数の推移は、第6図のとおりである。

第6表 窃盗犯認知件数表（前年比較）

手 口	平 成 30	平 成 29	増 減	
			件 数	%
総 数	13,293	14,674	-1,381	-9.4
侵 入 窃 盗	1,583	1,978	-395	-20.0
乗 り 物 盗	3,669	4,172	-503	-12.1
非 侵 入 窃 盗	8,041	8,524	-483	-5.7



第6図 窃盗犯認知件数の推移（10年間）



年次 総数・手口	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
窃盗犯総数	(100) 30,787	(97) 29,855	(87) 26,890	(79) 24,324	(71) 21,951	(60) 18,514	(54) 16,615	(50) 15,463	(48) 14,674	(43) 13,293
侵入窃盗	(100) 3,453	(100) 3,445	(91) 3,135	(81) 2,807	(69) 2,376	(55) 1,901	(57) 1,967	(46) 1,586	(57) 1,978	(46) 1,583
乗り物盗	(100) 10,624	(97) 10,273	(84) 8,912	(72) 7,699	(69) 7,373	(56) 5,912	(50) 5,350	(45) 4,803	(39) 4,172	(35) 3,669
非侵入窃盗	(100) 16,710	(97) 16,137	(89) 14,843	(83) 13,818	(73) 12,202	(64) 10,701	(56) 9,298	(54) 9,074	(51) 8,524	(48) 8,041

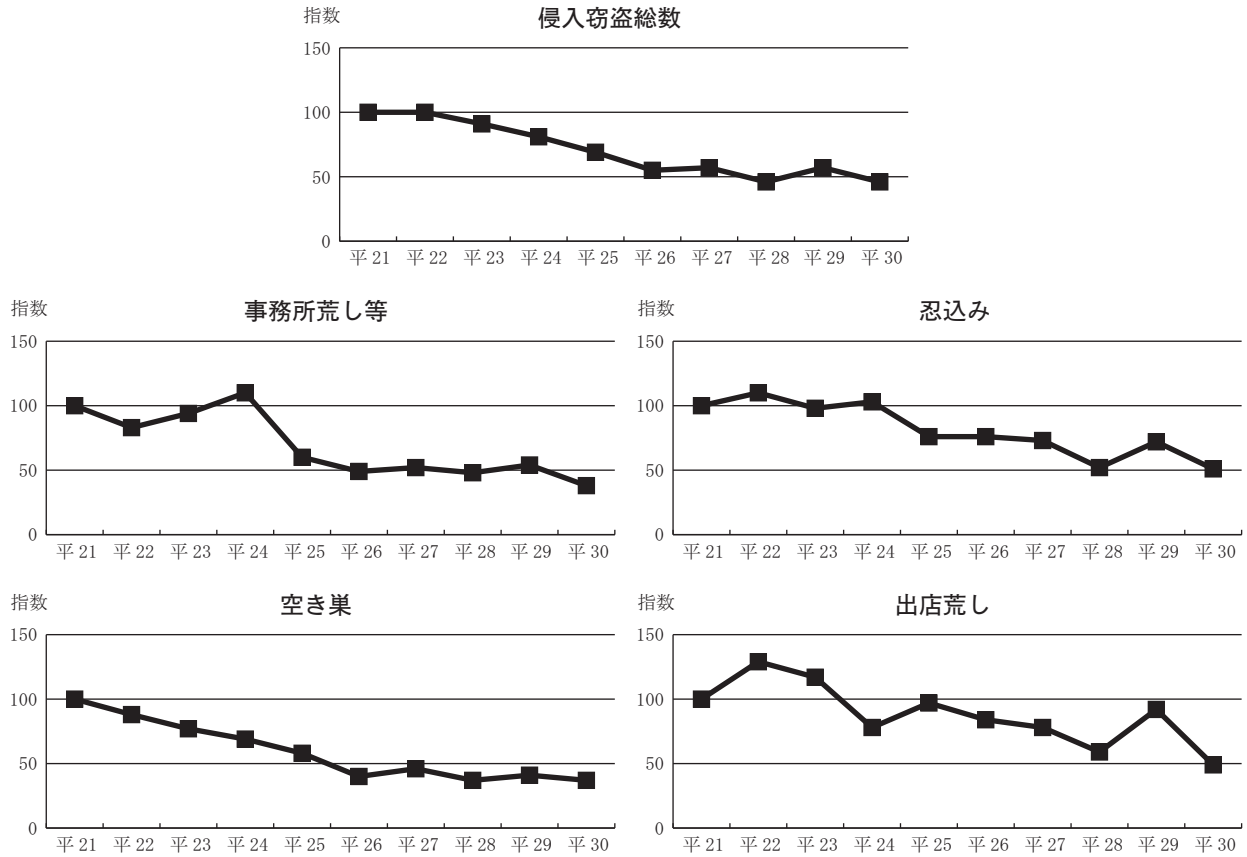
注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

(ア) 侵入窃盗

侵入窃盗の認知件数は1,583件で、対前年比395件（20.0％）減少した。

このうち件数の多い「事務所荒し等」、「空き巣」、「忍込み」及び「出店荒し」の4つの手口の推移は、第7図のとおりである。

第7図 侵入窃盗犯認知件数の推移（10年間）



年次 総数・手口	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
侵入窃盗総数	(100) 3,453	(100) 3,445	(91) 3,135	(81) 2,807	(69) 2,376	(55) 1,901	(57) 1,967	(46) 1,586	(57) 1,978	(46) 1,583
うち) 事務所荒し等	(100) 461	(83) 383	(94) 435	(110) 505	(60) 276	(49) 227	(52) 239	(48) 221	(54) 251	(38) 177
うち) 空 き 巣	(100) 1,395	(88) 1,230	(77) 1,070	(69) 960	(58) 813	(40) 563	(46) 637	(37) 518	(41) 566	(37) 515
うち) 忍 込 み	(100) 497	(110) 546	(98) 486	(103) 511	(76) 377	(76) 379	(73) 364	(52) 256	(72) 358	(51) 251
うち) 出 店 荒 し	(100) 392	(129) 507	(117) 460	(78) 307	(97) 379	(84) 328	(78) 306	(59) 233	(92) 360	(49) 192

注1 ()内は、平成21年を100とした指数を示す。

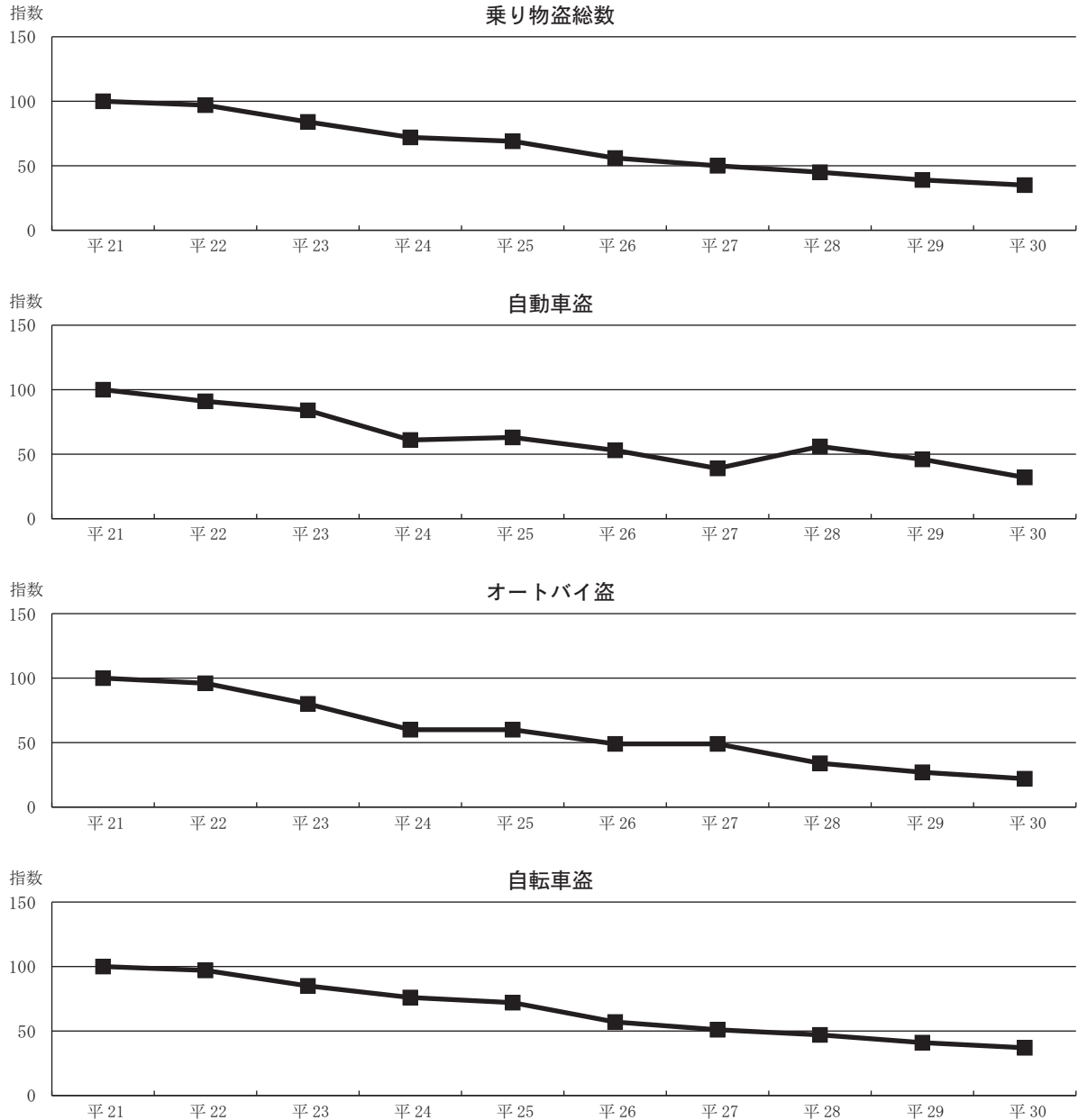
注2 事務所荒し等には、金庫破り、官公署荒しを含む。

(イ) 乗り物盗

乗り物盗の認知件数は3,669件で、対前年比503件（12.1%）減少した。

乗り物盗の総数と「自動車盗」、「オートバイ盗」及び「自転車盗」の推移は、第8図のとおりである。

第8図 乗り物盗の認知件数の推移（10年間）



年次 総数・手口	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
乗り物盗総数	(100) 10,624	(97) 10,273	(84) 8,912	(72) 7,699	(69) 7,373	(56) 5,912	(50) 5,350	(45) 4,803	(39) 4,172	(35) 3,669
自動車盗	(100) 436	(91) 396	(84) 366	(61) 267	(63) 276	(53) 232	(39) 169	(56) 244	(46) 200	(32) 140
オートバイ盗	(100) 1,744	(96) 1,666	(80) 1,394	(60) 1,049	(60) 1,039	(49) 853	(49) 856	(34) 593	(27) 473	(22) 375
自転車盗	(100) 8,444	(97) 8,211	(85) 7,152	(76) 6,383	(72) 6,058	(57) 4,827	(51) 4,325	(47) 3,966	(41) 3,499	(37) 3,154

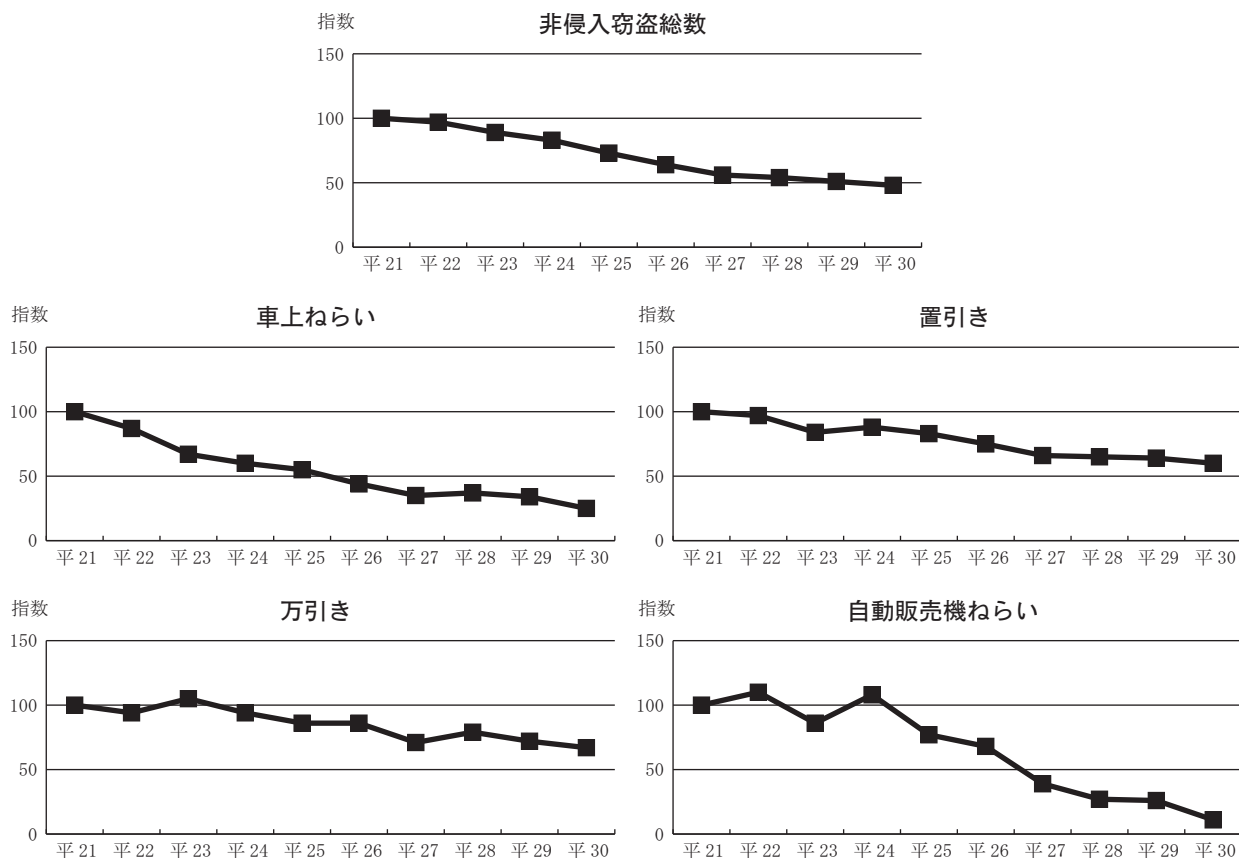
注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

(ウ) 非侵入窃盗（乗り物盗を除く）

非侵入窃盗の認知件数は8,041件で、対前年比483件（5.7%）減少した。

このうち主要手口である「車上ねらい」、「万引き」、「置引き」及び「自動販売機ねらい」の推移は、第9図のとおりである。

第9図 非侵入窃盗の認知件数の推移（10年間）



年次 総数・手口	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
非侵入窃盗総数	(100) 16,710	(97) 16,137	(89) 14,843	(83) 13,818	(73) 12,202	(64) 10,701	(56) 9,298	(54) 9,074	(51) 8,524	(48) 8,041
うち) 車上ねらい	(100) 4,117	(87) 3,569	(67) 2,766	(60) 2,489	(55) 2,271	(44) 1,794	(35) 1,452	(37) 1,511	(34) 1,410	(25) 1,048
うち) 万 引 き	(100) 3,822	(94) 3,586	(105) 4,027	(94) 3,584	(86) 3,291	(86) 3,280	(71) 2,716	(79) 3,020	(72) 2,764	(67) 2,562
うち) 置 引 き	(100) 1,541	(97) 1,495	(84) 1,292	(88) 1,357	(83) 1,279	(75) 1,159	(66) 1,016	(65) 998	(64) 984	(60) 921
うち) 自動販売機ねらい	(100) 531	(110) 583	(86) 457	(108) 575	(77) 407	(68) 363	(39) 206	(27) 144	(26) 138	(11) 56

注1 ()内は、平成21年を100とした指数を示す。

注2 非侵入窃盗は、乗り物盗を除く。

エ 知 能 犯

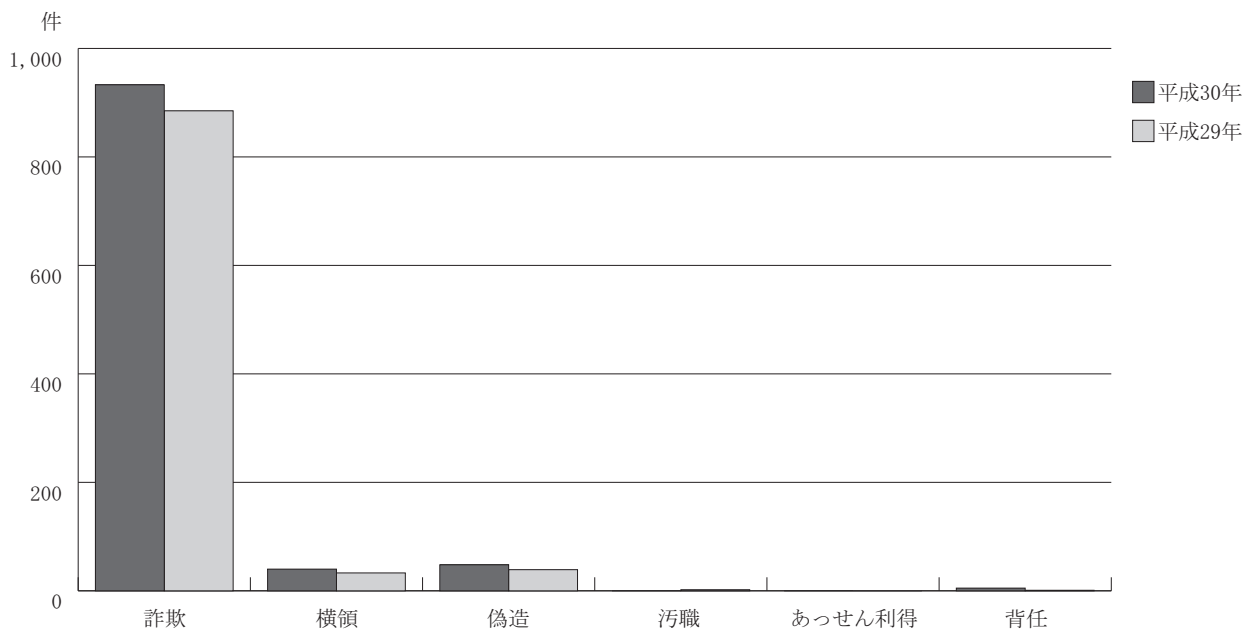
知能犯の認知件数は1,026件で、対前年比66件（6.9%）増加した。

これを罪種別にみると、第7表のとおりで、「詐欺」、「横領」、「偽造」、「背任」が増加し、「汚職」が減少した。

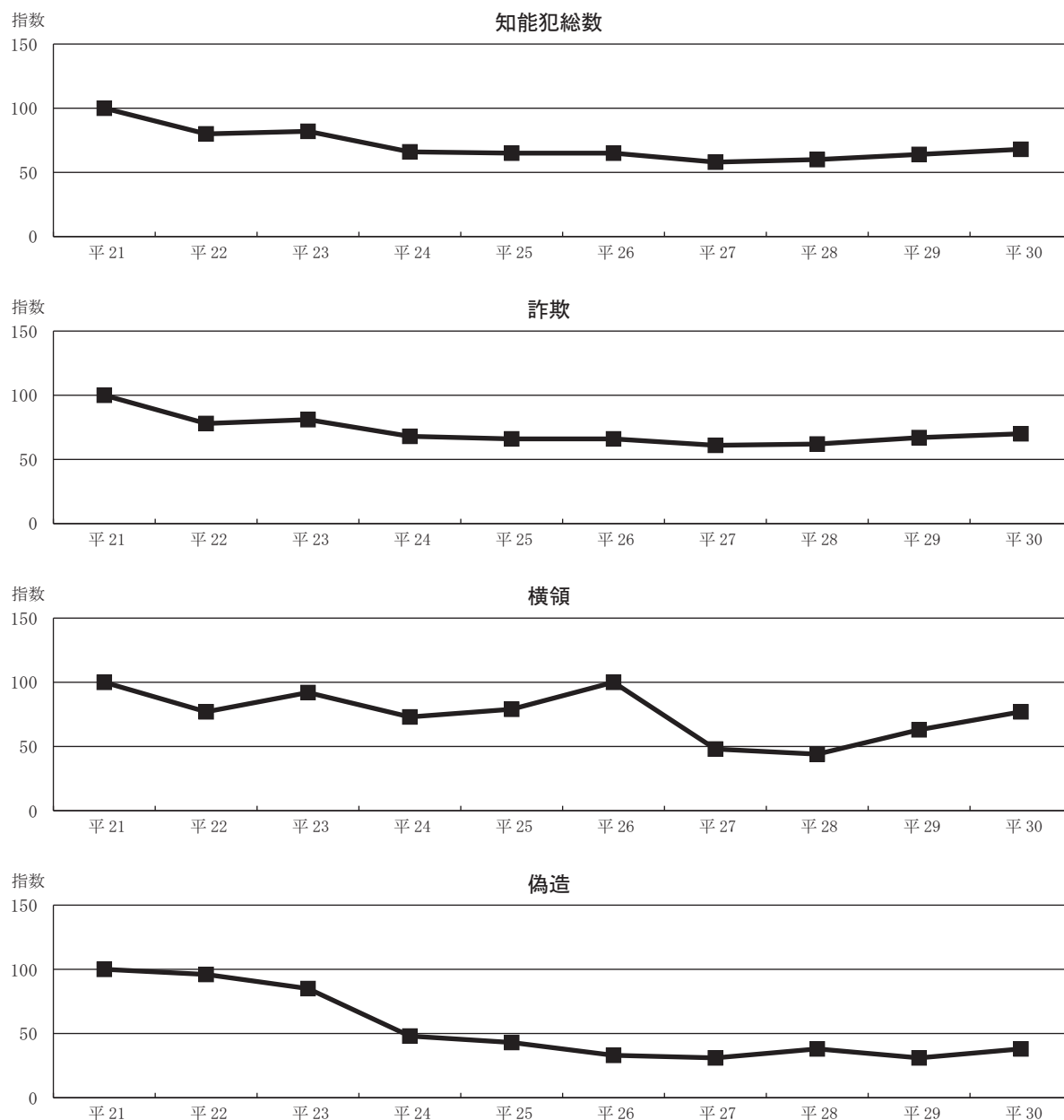
過去10年間における知能犯認知件数の推移は、第10図のとおりである。

第7表 知能犯認知件数表（前年比較）

罪 種	平 成 30	平 成 29	増 減	
			件 数	%
総 数	1,026	960	66	6.9
詐 欺	933	885	48	5.4
横 領	40	33	7	21.2
偽 造	48	39	9	23.1
汚 職	—	2	—2	—100.0
あ っ せ ん 利 得	—	—	—	—
背 任	5	1	4	400.0



第10図 知能犯認知件数の推移（10年間）



年次 総数・罪種	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
知能犯総数	(100) 1,505	(80) 1,205	(82) 1,237	(66) 999	(65) 974	(65) 978	(58) 879	(60) 900	(64) 960	(68) 1,026
うち) 詐欺	(100) 1,326	(78) 1,040	(81) 1,077	(68) 897	(66) 874	(66) 879	(61) 813	(62) 828	(67) 885	(70) 933
うち) 横領	(100) 52	(77) 40	(92) 48	(73) 38	(79) 41	(100) 52	(48) 25	(44) 23	(63) 33	(77) 40
うち) 偽造	(100) 127	(96) 122	(85) 108	(48) 61	(43) 55	(33) 42	(31) 39	(38) 48	(31) 39	(38) 48

注 ()内は、平成21年を100とした指数を示す。

オ 風 俗 犯

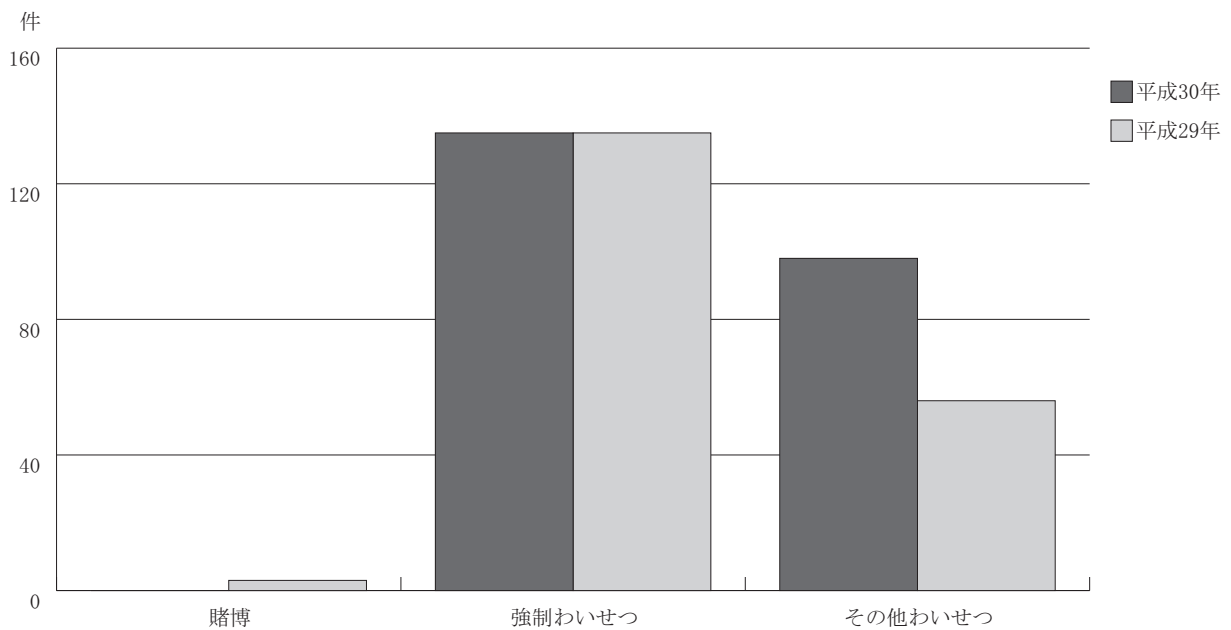
風俗犯の認知件数は233件で、対前年比39件（20.1%）増加した。

これを罪種別にみると、第8表のとおりで、「その他のわいせつ」が増加し、「強制わいせつ」は同数、「賭博」は減少した。

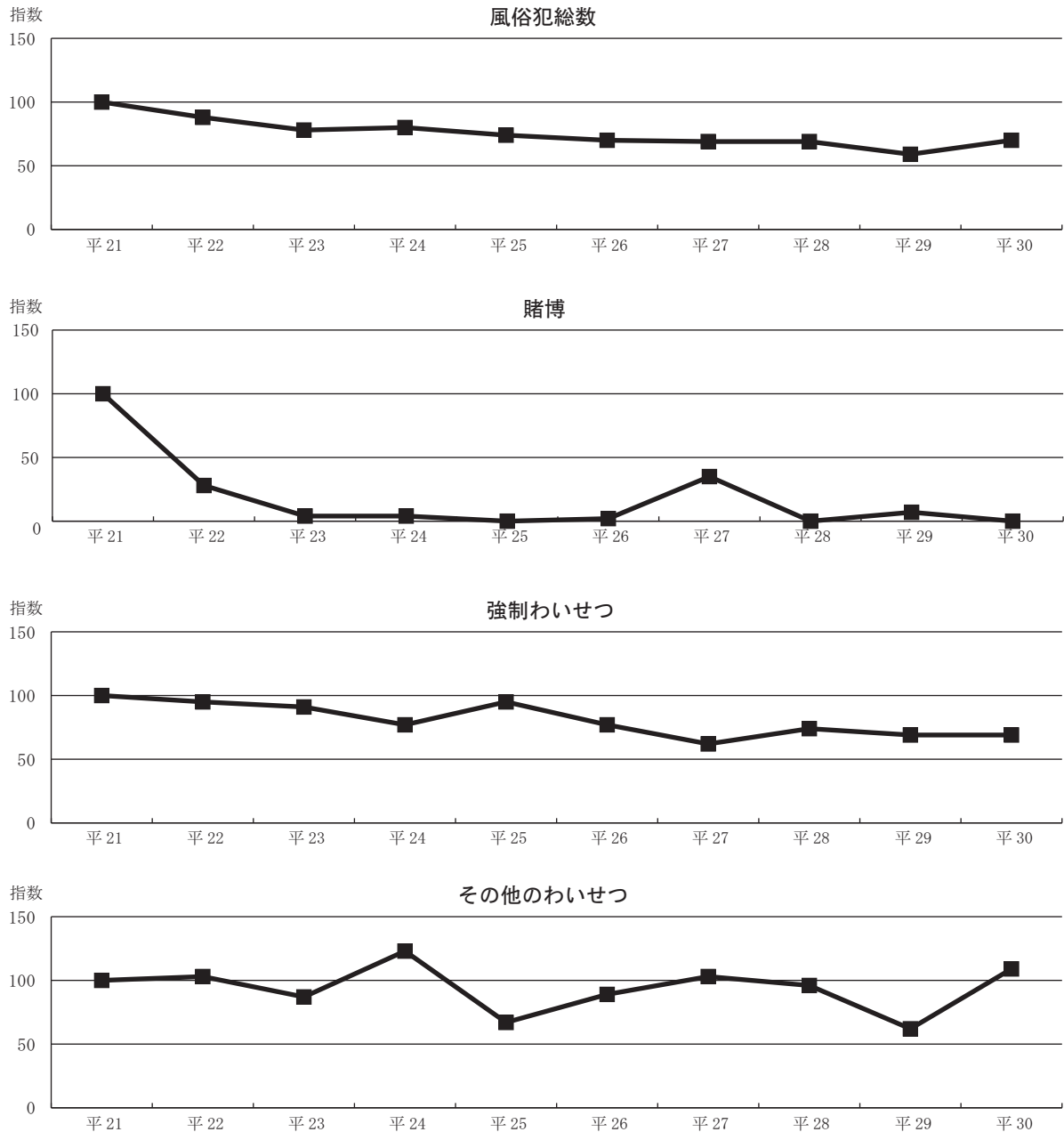
過去10年間における風俗犯認知件数の推移は、第11図のとおりである。

第8表 風俗犯認知件数表（前年比較）

罪 種	平 成 30	平 成 29	増 減	
			件 数	%
総 数	233	194	39	20.1
賭 博	—	3	—3	—100
強 制 わ い せ つ	135	135	—	—
そ の 他 の わ い せ つ	98	56	42	75



第11図 風俗犯認知件数の推移（10年間）



年次 総数・罪種	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
風俗犯総数	(100) 331	(88) 291	(78) 257	(80) 264	(74) 246	(70) 231	(69) 229	(69) 230	(59) 194	(70) 233
賭博	(100) 46	(28) 13	(4) 2	(4) 2	(-) -	(2) 1	(35) 16	(-) -	(7) 3	(0) -
強制わいせつ	(100) 195	(95) 185	(91) 177	(77) 151	(95) 186	(77) 150	(62) 120	(74) 144	(69) 135	(69) 135
その他のわいせつ	(100) 90	(103) 93	(87) 78	(123) 111	(67) 60	(89) 80	(103) 93	(96) 86	(62) 56	(109) 98

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

カ その他の刑法犯

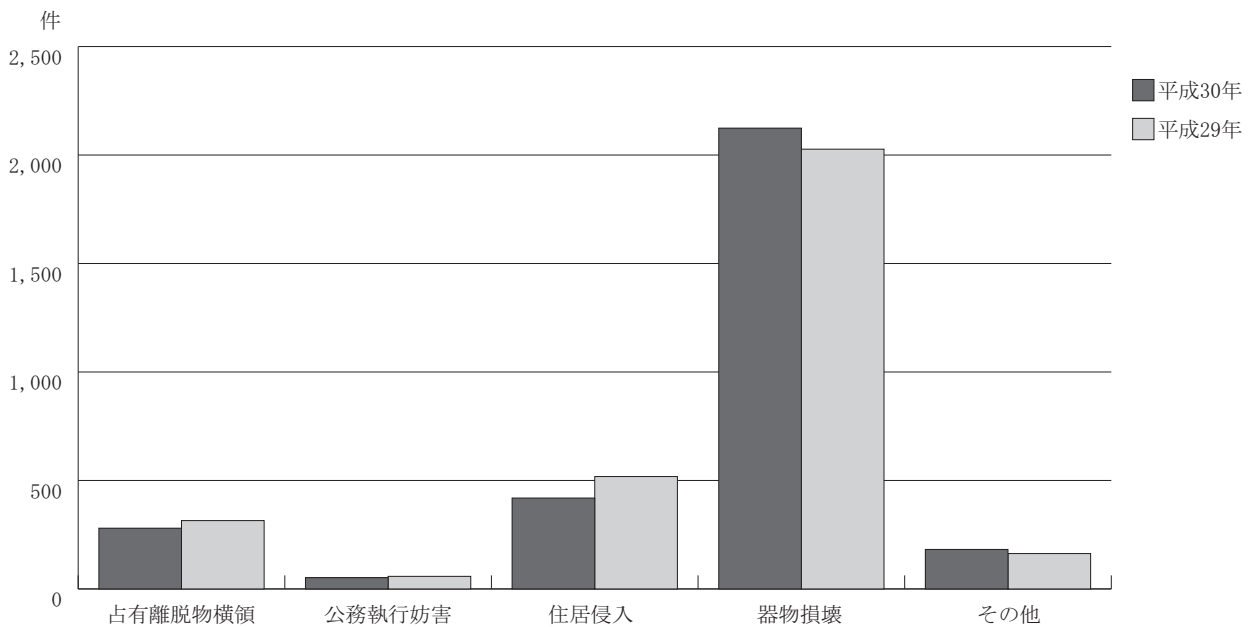
その他の刑法犯の認知件数は3,087件で、対前年比4件（0.1％）減少した。

これを各主要罪種別にみると、第9表のとおりで、「逮捕監禁」、「略取誘拐・人身売買」、「器物損壊」が増加し、「占有離脱物横領」、「公務執行妨害」、「住居侵入」は減少した。

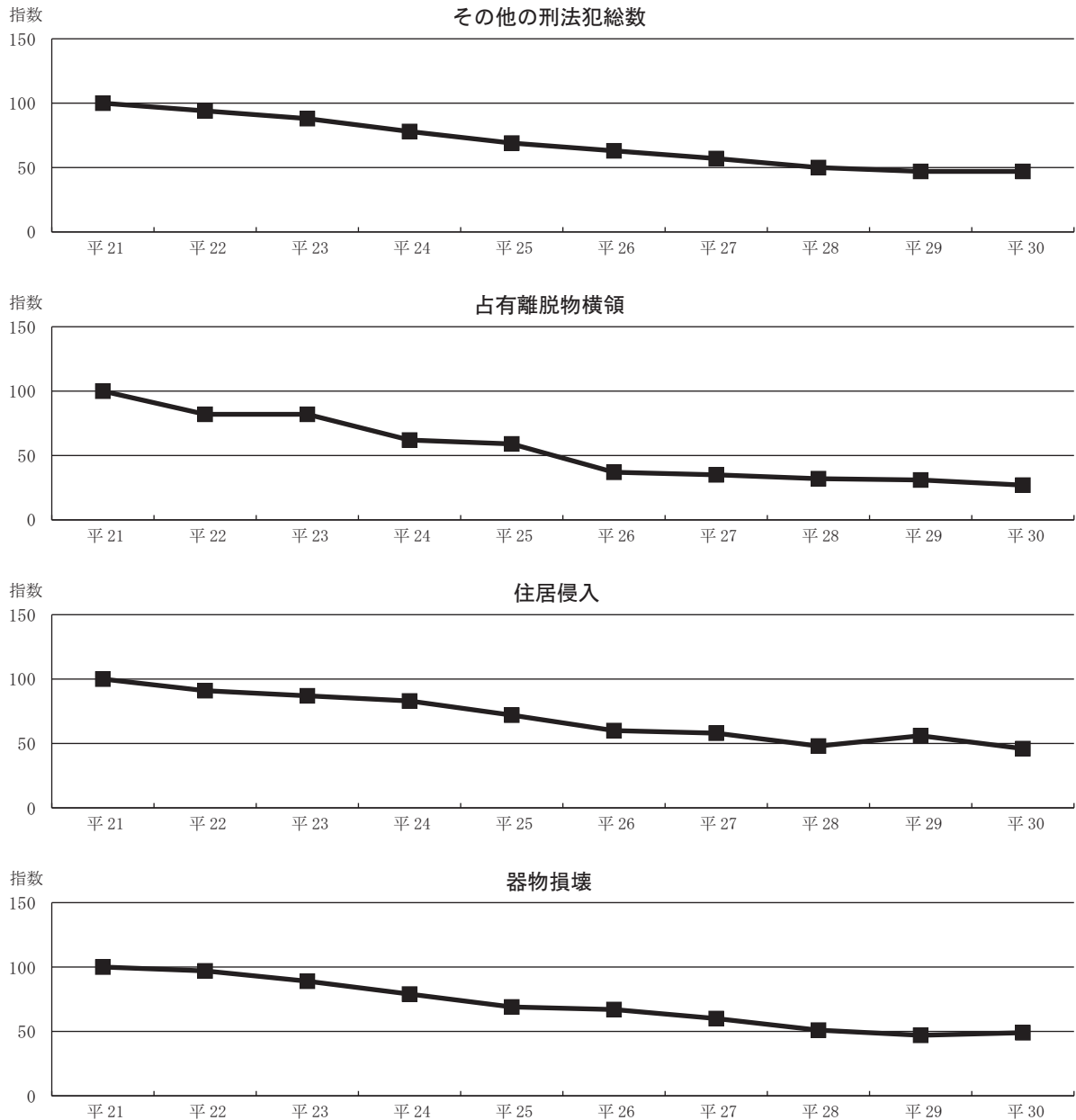
過去10年間におけるその他の刑法犯認知件数の推移は、第12図のとおりである。

第9表 その他の刑法犯認知件数表（前年比較）

罪 種	平 成 30	平 成 29	増 減	
			件 数	%
総 数	3,087	3,091	-4	-0.1
占 有 離 脱 物 横 領	280	315	-35	-11.1
公 務 執 行 妨 害	52	58	-6	-10.3
住 居 侵 入	419	518	-99	-19.1
器 物 損 壊	2,124	2,027	97	4.8
そ の 他	182	163	19	11.7



第12図 その他の刑法犯認知件数の推移（10年間）



年次 総数・罪種	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
その他の刑法犯総数	(100) 6,528	(94) 6,156	(88) 5,723	(78) 5,066	(69) 4,520	(63) 4,083	(57) 3,737	(50) 3,237	(47) 3,091	(47) 3,087
うち 占有離脱物横領	(100) 1,022	(82) 840	(82) 835	(62) 632	(59) 602	(37) 378	(35) 360	(32) 322	(31) 315	(27) 280
うち 住居侵入	(100) 919	(91) 837	(87) 803	(83) 764	(72) 661	(60) 548	(58) 537	(48) 441	(56) 518	(46) 419
うち 器物損壊	(100) 4,319	(97) 4,183	(89) 3,852	(79) 3,412	(69) 2,998	(67) 2,900	(60) 2,596	(51) 2,205	(47) 2,027	(49) 2,124

注 ()内は、平成21年を100とした指数を示す。

(5) 警察署別認知状況

刑法犯認知件数の警察署平均は728件で、対前年比45件（5.8%）減少した。

県下27署中、前年より増加した警察署は、11署あり、その状況は第10表のとおりである。

増加率が高かった警察署は、天竜署（90.5%）、下田署（18.8%）の順であった。

一方、減少率の高かった警察署は、島田署（24.7%）、湖西署（16.8%）の順であった。

次に、刑法犯認知件数の構成比による上位5警察署は、第11表のとおりである。

この上位5署で8,031件を認知し、認知総数の40.9%を占めている。

第10表 警察署別認知件数及び増減表

警 察 署	平 成 30	平 成 29	増 減	率
総 数	19,659	20,869	-1,210	-5.8
下 田	272	229	43	18.8
大 仁	550	504	46	9.1
三 島	794	909	-115	-12.7
伊 東	363	409	-46	-11.2
熱 海	248	218	30	13.8
沼 津	1,686	1,949	-263	-13.5
裾 野	485	463	22	4.8
御 殿 場	656	578	78	13.5
富 士	1,486	1,620	-134	-8.3
富 士 宮	521	595	-74	-12.4
清 水	1,143	1,246	-103	-8.3
静 岡 中 央	1,499	1,453	46	3.2
静 岡 南	1,362	1,560	-198	-12.7
藤 枝	535	550	-15	-2.7
焼 津	671	753	-82	-10.9
島 田	359	477	-118	-24.7
牧 之 原	306	317	-11	-3.5
菊 川	285	270	15	5.6
掛 川	443	479	-36	-7.5
袋 井	564	506	58	11.5
磐 田	912	980	-68	-6.9
天 竜	120	63	57	90.5
浜 松 中 央	1,964	2,262	-298	-13.2
浜 松 東	1,396	1,337	59	4.4
浜 北	391	446	-55	-12.3
湖 西	303	364	-61	-16.8
細 江	345	332	13	3.9

第11表 刑法犯認知件数上位警察署

警察署	認知件数	構成比 (%)
浜松中央	1,964	10.0
沼津	1,686	8.6
静岡中央	1,499	7.6
富士	1,486	7.6
浜松東	1,396	7.1

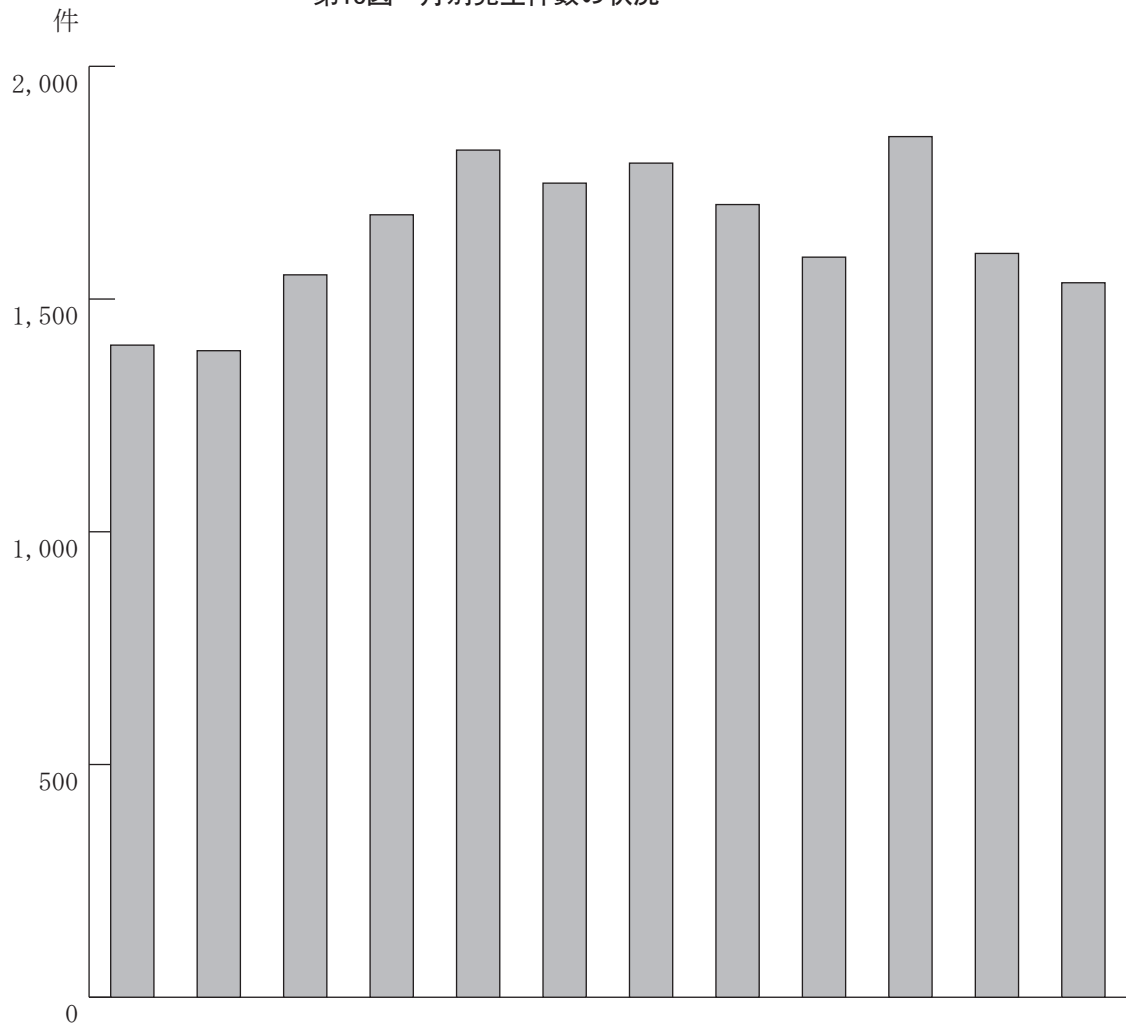
(6) 月別発生状況

刑法犯認知件数19,659件を月別に分類した発生状況は、第13図のとおりである。

犯罪発生のもっとも多い月は、10月の1,849件（9.4％）で、最も少ない月は、2月の1,389件（7.1％）である。

また、包括罪種別に分類した多発月は、凶悪犯が5月の21件（15.0％）、粗暴犯が5月の187件（9.9％）、窃盗犯が10月の1,291件（9.7％）、知能犯が12月の107件（10.4％）、風俗犯が7月の28件（12.0％）となっている。

第13図 月別発生件数の状況



罪種	月	総数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総数		19,659	1,401	1,389	1,552	1,681	1,820	1,749	1,792	1,703	1,590	1,849	1,598	1,535
凶悪犯		140	10	6	8	12	21	11	11	12	17	4	12	16
粗暴犯		1,880	140	117	131	160	187	185	172	155	164	172	163	134
窃盗犯		13,293	954	966	1,087	1,125	1,212	1,163	1,207	1,131	1,065	1,291	1,064	1,028
知能犯		1,026	69	82	106	95	97	79	103	71	61	78	78	107
風俗犯		233	15	11	13	18	26	24	28	26	16	19	19	18
その他の刑法犯		3,087	213	207	207	271	277	287	271	308	267	285	262	232

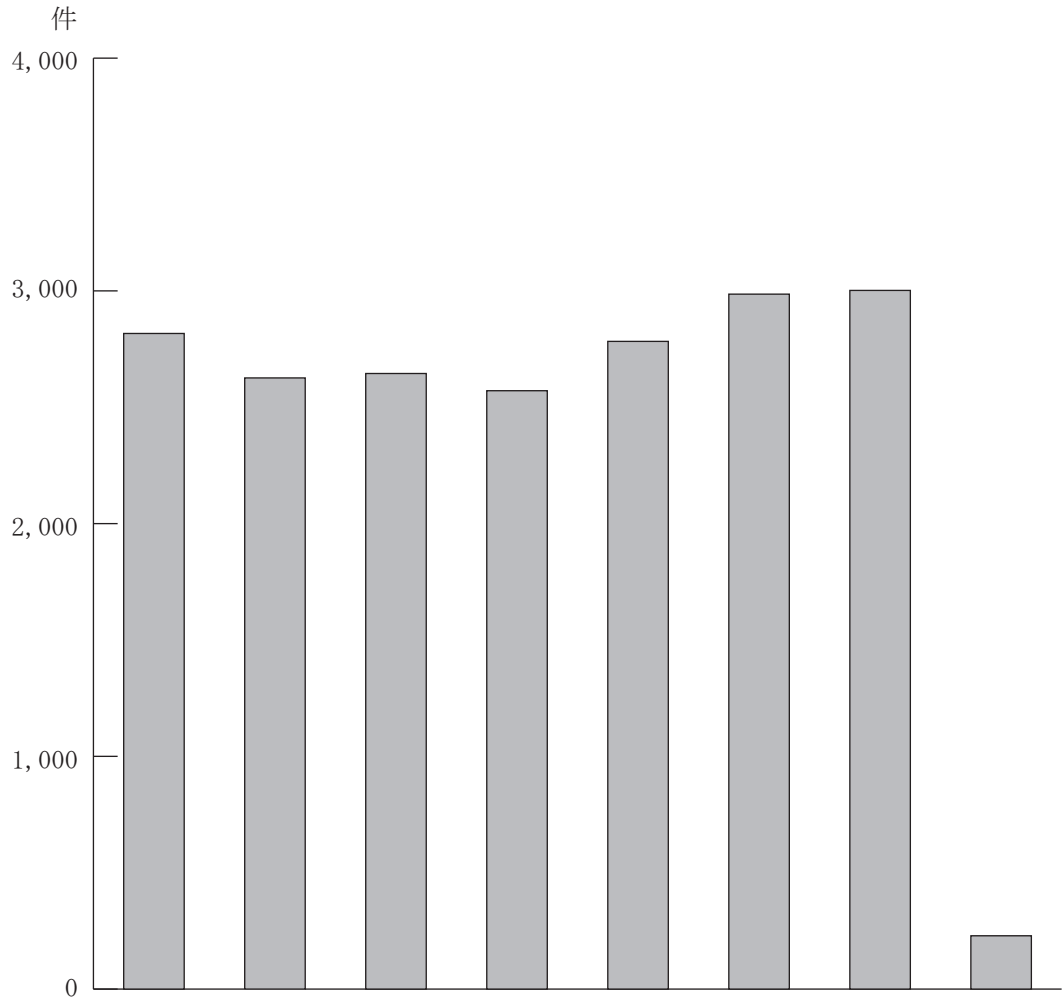
(7) 曜日別発生状況

刑法犯認知件数を曜日別に分類した発生状況は、第14図のとおりである。

発生の最も多い曜日は、土曜日の3,002件（15.3%）、次いで金曜日の2,986件（15.2%）である。

一方、最も少ない曜日は、水曜日の2,571件（13.1%）である。

第14図 曜日別発生件数の状況



罪種 \ 曜日	総数	日	月	火	水	木	金	土	不明
総数	19,659	2,817	2,626	2,645	2,571	2,783	2,986	3,002	229
凶悪犯	140	22	24	18	17	20	18	21	—
粗暴犯	1,880	368	250	234	239	283	239	259	8
窃盗犯	13,293	1,867	1,778	1,787	1,712	1,841	2,072	2,075	161
知能犯	1,026	72	135	181	185	184	161	89	19
風俗犯	233	32	35	31	29	37	33	32	4
その他の刑法犯	3,087	456	404	394	389	418	463	526	37

(8) 時間帯別発生状況

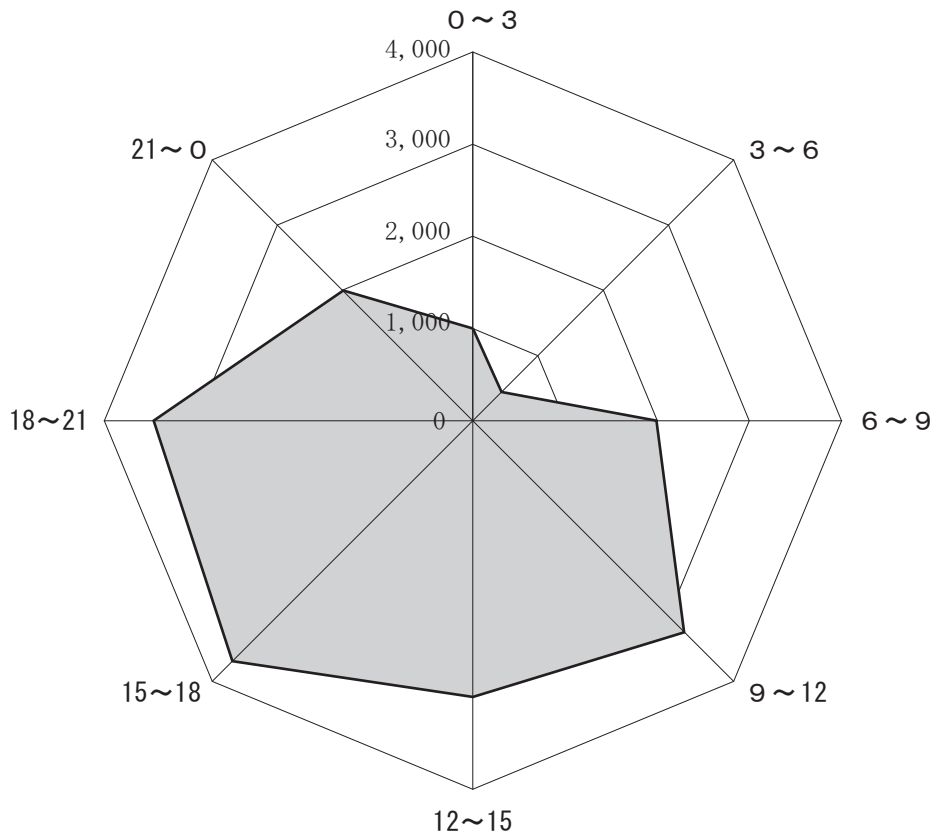
刑法犯認知件数の時間帯別（3時間単位）発生状況は、第15図及び第12表のとおりである。

最も多い時間帯は、「15時～18時」の3,717件（18.9%）、次いで「18時～21時」の3,411件（17.4%）であり、「15時～21時」の6時間が総数の36.3%を占めている。

また、昼間を「6時～18時」、夜間を「18時～6時」に大別した発生状況は、昼間が11,896件、夜間が7,010件で昼間が上回っている。

また、包括罪種別の時間帯別認知件数の状況は、第16図のとおりである。

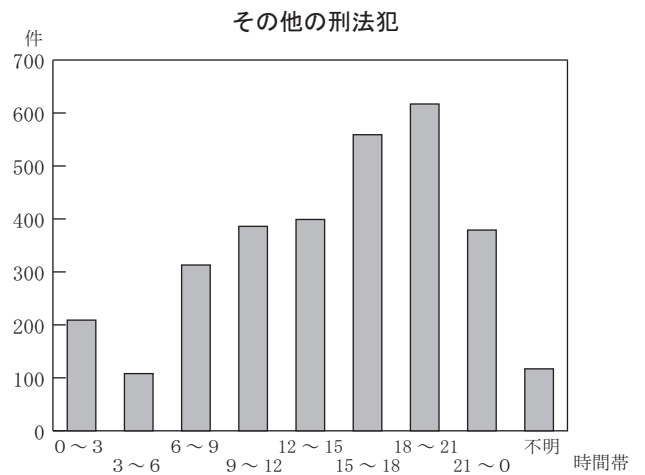
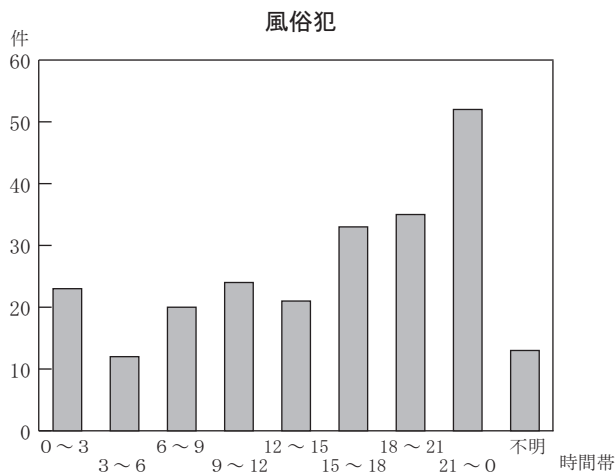
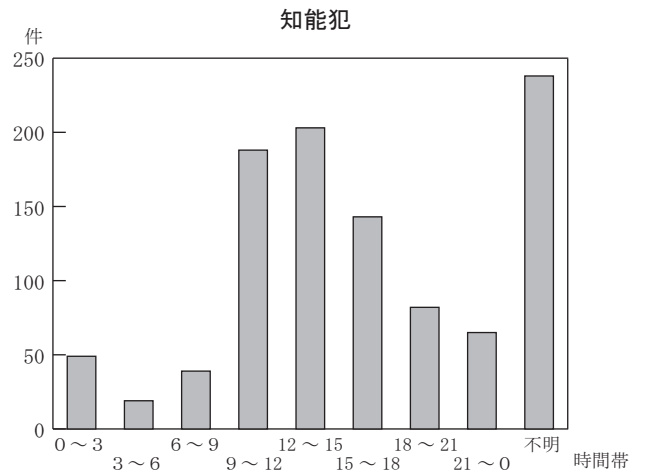
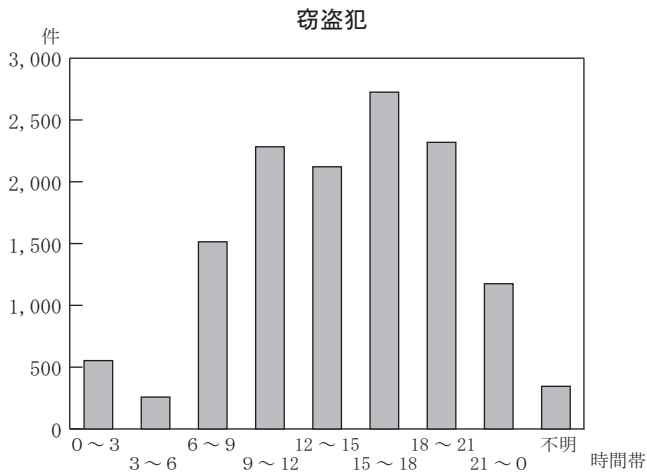
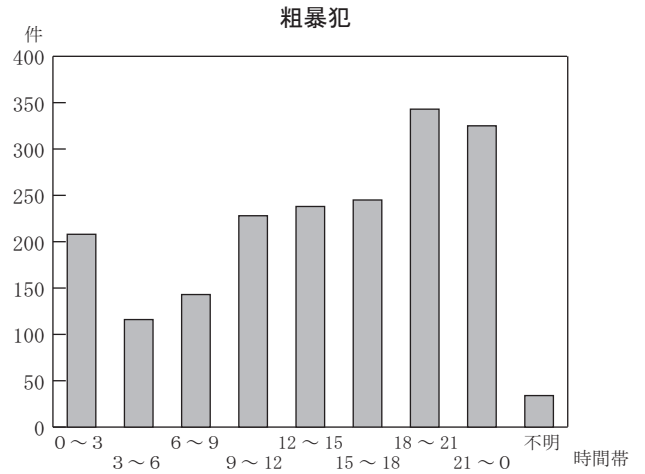
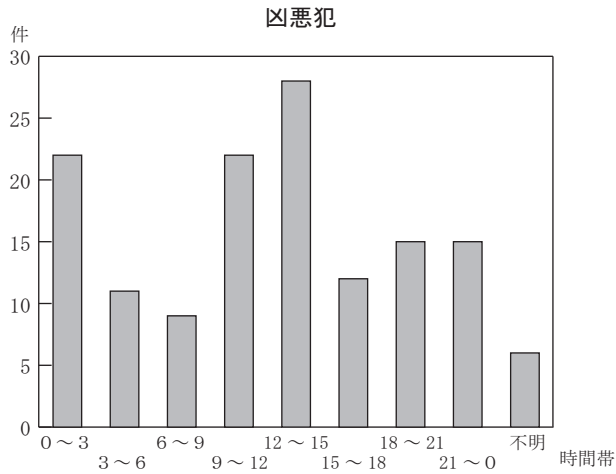
第15図 時間帯別認知件数の状況（総数）



第12表 刑法犯包括罪種別時間帯別認知件数表

罪種	総数	時間帯									不明
		0～3	3～6	6～9	9～12	12～15	15～18	18～21	21～0		
総数	19,659	1,064	524	2,038	3,131	3,010	3,717	3,411	2,011	753	
凶悪犯	140	22	11	9	22	28	12	15	15	6	
粗暴犯	1,880	208	116	143	228	238	245	343	325	34	
窃盗犯	13,293	553	258	1,514	2,283	2,121	2,725	2,319	1,175	345	
知能犯	1,026	49	19	39	188	203	143	82	65	238	
風俗犯	233	23	12	20	24	21	33	35	52	13	
その他の刑法犯	3,087	209	108	313	386	399	559	617	379	117	

第16図 時間帯別認知件数の状況（包括罪種別）



2 犯罪の被害状況

犯罪による死傷者及び財産犯の被害状況は、次のとおりである。

(1) 死 傷 者

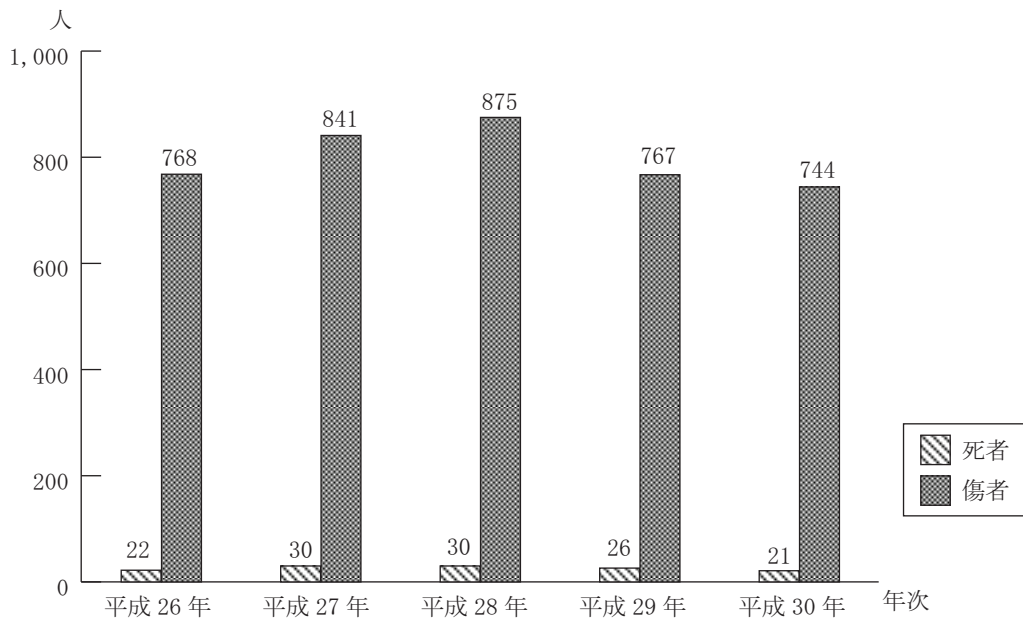
県下で死亡又は負傷した被害者の総数は765人で、対前年比28人（3.5%）減少した。

最近5年間の状況は、第13表及び第17図のとおりである。

第13表 過去5年間死傷被害者数表

罪 種	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
総 数	22	768	30	841	30	875	26	767	21	744
殺 人	9	16	9	13	13	23	15	18	7	19
強 盗	—	18	1	20	—	27	—	22	—	26
放 火	1	1	1	1	—	4	—	3	1	—
強 制 性 交 等	—	10	—	3	—	4	—	10	—	3
傷 害（同致死）	2	697	1	764	2	775	1	668	1	667
過 失 致 死 傷	—	—	1	5	—	—	1	8	—	5
業 務 上 過 失 致 死 傷	10	12	16	22	13	22	8	30	11	18
失 火	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—
そ の 他	—	14	1	7	2	20	1	8	1	6

第17図 過去5年間死傷被害者数状況



(2) 財産犯の被害

財産犯（強盗、恐喝、窃盗、詐欺、横領、背任、占有離脱物横領及び不動産侵奪）による被害総額は27億8,045万円で、対前年比2,822万円（1.0%）減少した。

このうち、現金の被害額は18億8,297万円で、対前年比3億5,052万円(22.9%)増加しており、被害総額の67.7%が現金である。

罪種別に分類すると、詐欺が14億3,772万円（構成比51.7%）で最も多く、次いで窃盗が11億6,660万円（構成比42.0%）の順となっている。

最近5年間の主要罪種別被害額の状況は、第14表のとおりである。

第14表 過去5年間主要罪種別被害額表

(単位：万円)

罪種	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年	
	総額	うち)現金	総額	うち)現金	総額	うち)現金	総額	うち)現金	総額	うち)現金
総数	358,570	231,437	251,716	145,148	315,920	192,781	280,867	153,245	278,045	188,297
強盗	537	386	4,348	1,076	1,016	719	165	122	220	171
恐喝	2,669	2,614	2,117	2,117	2,447	2,337	2,673	2,672	2,957	1,097
窃盗	153,297	38,727	134,914	43,259	148,985	36,170	136,842	35,318	116,660	38,847
詐欺	154,695	148,881	99,115	87,824	137,473	131,308	137,710	112,442	143,772	136,211
横領	33,361	27,178	10,606	10,551	24,939	22,020	2,935	2,470	11,463	9,215
背任	13,391	13,391	—	—	600	—	—	—	2,489	2,489
占有離脱物横領	620	260	616	321	460	227	542	221	484	267
不動産侵奪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

3 検 挙 状 況

(1) 重 要 犯 罪

重要犯罪の検挙件数は233件で、対前年比35件（17.7%）増加し、検挙人員は192人で対前年比40人（26.3%）増加した。また、検挙率は80.3%で対前年比6.4ポイント上昇した。

罪種別の検挙件数及び検挙人員は第15表のとおりで、件数・人員ともに「強盗」、「放火」、「強姦性交等」、「略取誘拐・人身売買」、「強制わいせつ」が増加し、「殺人」は減少した。

第15表 重要犯罪検挙状況表（前年比較）

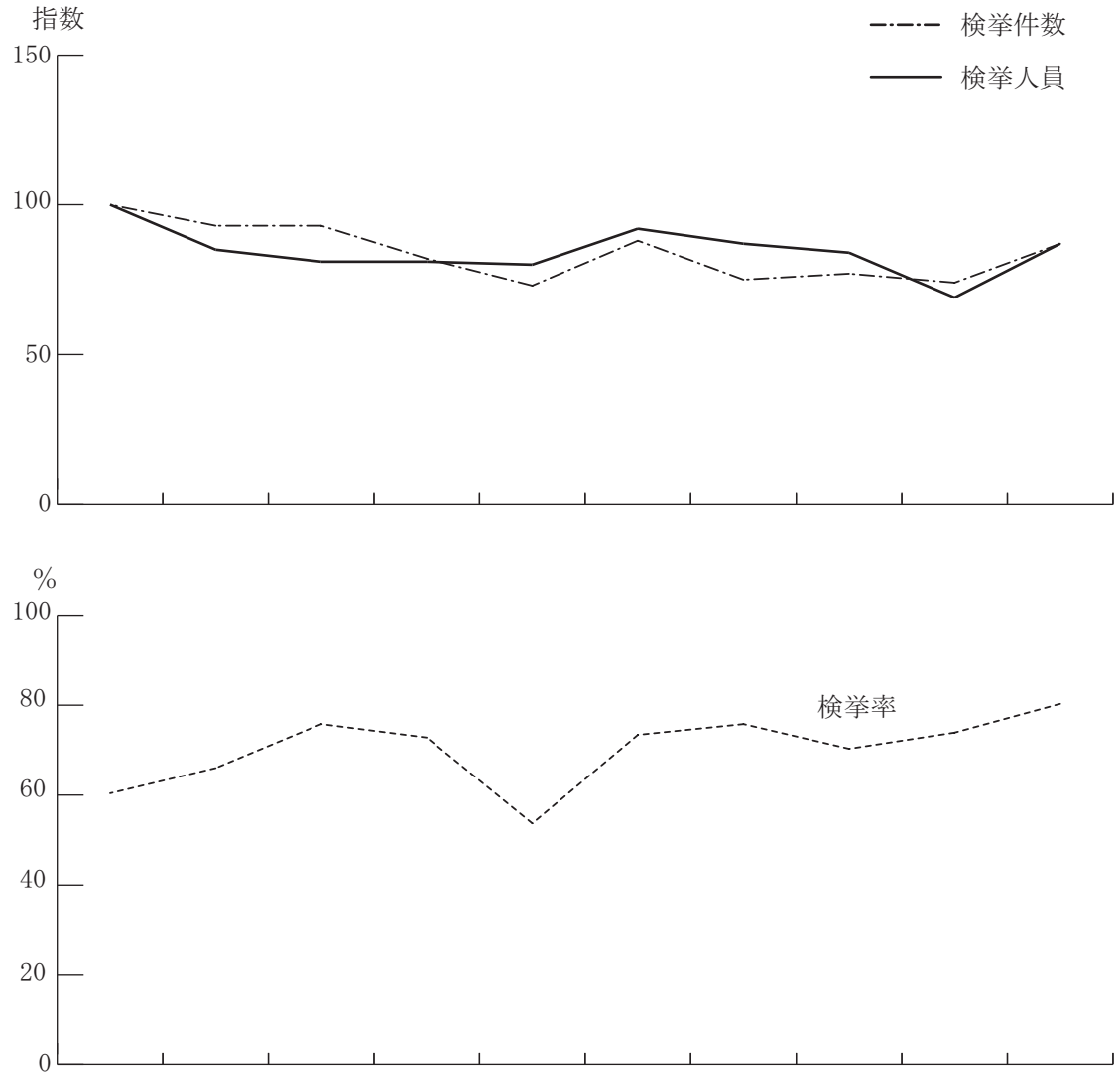
罪 種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	平成30	平成29	増 減		平成30	平成29	増 減	
			件数	%			人員	%
総 数	233	198	35	17.7	192	152	40	26.3
殺 人	28	30	-2	-6.7	19	29	-10	-34.5
強 盗	47	36	11	30.6	52	29	23	79.3
放 火	28	24	4	16.7	20	12	8	66.7
強 制 性 交 等	25	23	2	8.7	27	19	8	42.1
略取誘拐・人身売買	16	3	13	433.3	10	4	6	150.0
強制わいせつ	89	82	7	8.5	64	59	5	8.5

過去10年間における重要犯罪検挙件数、検挙人員及び検挙率の推移は、第16表及び第18図のとおりである。

第16表 重要犯罪検挙状況表（10年間）

罪 種	区 分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
総 数	検挙件数	268	249	250	219	196	235	201	206	198	233
	検挙人員	221	188	178	179	176	203	192	185	152	192
	検 挙 率	60.4	66.0	75.8	72.8	53.7	73.4	75.8	70.3	73.9	80.3
殺 人	検挙件数	31	29	20	27	27	29	28	32	30	28
	検挙人員	25	21	13	26	22	21	47	20	29	19
	検 挙 率	103.3	87.9	133.3	90.0	93.1	96.7	100.0	100.0	88.2	93.3
強 盗	検挙件数	70	68	49	53	59	57	43	42	36	47
	検挙人員	92	72	58	49	66	68	51	46	29	52
	検 挙 率	60.9	79.1	65.3	86.9	68.6	90.5	79.6	73.7	85.7	97.9
放 火	検挙件数	33	15	28	25	9	34	17	18	24	28
	検挙人員	22	16	11	16	11	26	11	26	12	20
	検 挙 率	54.1	51.7	90.3	78.1	27.3	85.0	40.5	66.7	104.3	107.7
強 制 性 交 等	検挙件数	27	32	35	27	14	25	27	21	23	25
	検挙人員	23	24	27	28	12	21	18	17	19	27
	検 挙 率	75.0	82.1	116.7	117.4	53.8	75.8	135.0	84.0	76.7	69.4
略取誘拐・ 人身売買	検挙件数	7	3	1	4	4	4	1	8	3	16
	検挙人員	5	3	-	3	3	3	1	7	4	10
	検 挙 率	100.0	60.0	50.0	100.0	80.0	100.0	100.0	100.0	75.0	106.7
強 制 わいせつ	検挙件数	100	102	117	83	83	86	85	85	82	89
	検挙人員	54	52	69	57	62	64	64	69	59	64
	検 挙 率	51.3	55.1	66.1	55.0	44.6	57.3	70.8	59.0	60.7	65.9

第18図 重要犯罪検挙状況の推移（10年間）



年次	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
検挙件数	(100) 268	(93) 249	(93) 250	(82) 219	(73) 196	(88) 235	(75) 201	(77) 206	(74) 198	(87) 233
検挙率	60.4	66.0	75.8	72.8	53.7	73.4	75.8	70.3	73.9	80.3
検挙人員	(100) 221	(85) 188	(81) 178	(81) 179	(80) 176	(92) 203	(87) 192	(84) 185	(69) 152	(87) 192

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

(2) 重要窃盗犯

重要窃盗犯の検挙件数は952件で、対前年比5件（0.5%）減少し、検挙人員は158人で、対前年比17人（9.7%）減少した。また、検挙率は54.1%で対前年比11.5ポイント上昇した。

手口別の検挙件数及び検挙人員は、第17表のとおりである。

第17表 重要窃盗犯検挙状況表（前年比較）

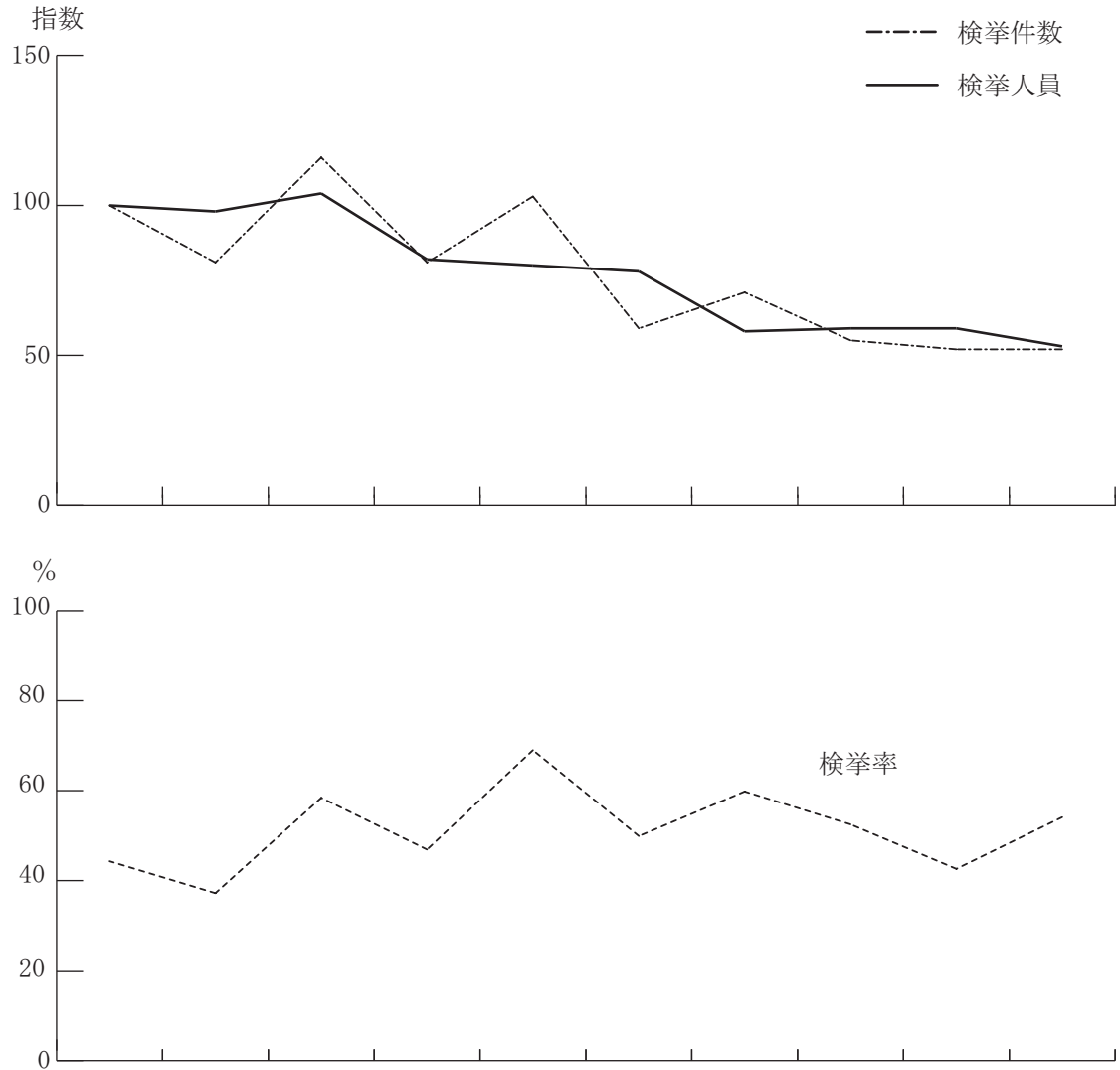
手 口	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	平成30	平成29	増 減		平成30	平成29	増 減	
			件数	%			人員	%
総 数	952	957	-5	-0.5	158	175	-17	-9.7
侵 入 窃 盗	784	771	13	1.7	115	131	-16	-12.2
住宅対象	312	406	-94	-23.2	49	52	-3	-5.8
そ の 他	472	365	107	29.3	66	79	-13	-16.5
自 動 車 盗	79	150	-71	-47.3	24	34	-10	-29.4
ひ っ た く り	74	21	53	252	6	4	2	50.0
す り	15	15	-	-	13	6	7	116.7

過去10年間における重要窃盗犯の検挙件数、検挙人員及び検挙率の推移は、第18表及び第19図のとおりである。

第18表 重要窃盗犯検挙状況表（10年間）

手 口	区 分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
総 数	検挙件数	1,837	1,496	2,129	1,488	1,889	1,093	1,301	1,004	957	952
	検挙人員	298	292	311	243	238	231	172	177	175	158
	検 挙 率	44.3	37.2	58.4	46.9	69.0	49.9	59.8	52.5	42.6	54.1
侵入窃盗	検挙件数	1,259	1,191	1,757	1,368	1,540	926	968	852	771	784
	検挙人員	209	191	215	183	155	174	131	135	131	115
	検 挙 率	36.5	34.6	56.0	48.7	64.8	48.7	49.2	53.7	39.0	49.5
自動車盗	検挙件数	450	243	287	98	321	150	314	118	150	79
	検挙人員	69	64	67	50	66	45	31	31	34	24
	検 挙 率	103.2	61.4	78.4	36.7	116.3	64.7	185.8	48.4	75.0	56.4
ひったくり	検挙件数	69	40	56	13	19	10	12	21	21	74
	検挙人員	13	15	12	7	9	4	6	4	4	6
	検 挙 率	34.3	30.5	51.9	16.9	29.7	22.7	66.7	34.4	46.7	411.1
す り	検挙件数	59	22	29	9	9	7	7	13	15	15
	検挙人員	7	22	17	3	8	8	4	7	6	13
	検 挙 率	111.3	44.9	80.6	36.0	39.1	58.3	35.0	61.9	68.2	78.9

第19図 重要窃盗犯検挙状況の推移（10年間）



区分 \ 年次	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
検 挙 件 数	(100) 1,837	(81) 1,496	(116) 2,129	(81) 1,488	(103) 1,889	(59) 1,093	(71) 1,301	(55) 1,004	(52) 957	(52) 952
検 挙 率	44.3	37.2	58.4	46.9	69.0	49.9	59.8	52.5	42.6	54.1
検 挙 人 員	(100) 298	(98) 292	(104) 311	(82) 243	(80) 238	(78) 231	(58) 172	(59) 177	(59) 175	(53) 158

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

(3) 包括罪種別にみた検挙状況

ア 凶 悪 犯

凶悪犯の検挙件数は128件で、対前年比15件（13.3%）、検挙人員は118人で、対前年比29人（32.6%）と、いずれも増加した。

過去10年間における凶悪犯検挙件数等の状況は、第19表のとおりである。

第19表 凶悪犯検挙状況表（10年間）

罪 種	区 分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
総 数	検挙件数	161	144	132	132	109	145	115	113	113	128
	検挙人員	162	133	109	119	111	136	127	109	89	118
	検 挙 率	66.5	77.0	87.4	90.4	62.6	87.3	79.9	80.1	87.6	91.4
殺 人	検挙件数	31	29	20	27	27	29	28	32	30	28
	検挙人員	25	21	13	26	22	21	47	20	29	19
	検 挙 率	103.3	87.9	133.3	90.0	93.1	96.7	100.0	100.0	88.2	93.3
強 盗	検挙件数	70	68	49	53	59	57	43	42	36	47
	検挙人員	92	72	58	49	66	68	51	46	29	52
	検 挙 率	60.9	79.1	65.3	86.9	68.6	90.5	79.6	73.7	85.7	97.9
放 火	検挙件数	33	15	28	25	9	34	17	18	24	28
	検挙人員	22	16	11	16	11	26	11	26	12	20
	検 挙 率	54.1	51.7	90.3	78.1	27.3	85.0	40.5	66.7	104.3	107.7
強制性交等	検挙件数	27	32	35	27	14	25	27	21	23	25
	検挙人員	23	24	27	28	12	21	18	17	19	27
	検 挙 率	75.0	82.1	116.7	117.4	53.8	75.8	135.0	84.0	76.7	69.4

イ 粗 暴 犯

粗暴犯の検挙件数は1,679件で、対前年比37件（2.3%）、検挙人員は1,842人で、対前年比50人（2.8%）といずれも増加した。

過去10年間における粗暴犯検挙件数等の状況は、第20表のとおりである。

第20表 粗暴犯検挙状況表（10年間）

罪 種	区 分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
総 数	検挙件数	1,256	1,414	1,331	1,295	1,249	1,382	1,628	1,921	1,642	1,679
	検挙人員	1,340	1,530	1,395	1,402	1,318	1,403	1,718	2,033	1,792	1,842
	検 挙 率	74.9	80.5	81.1	81.1	81.6	84.8	86.8	90.4	90.2	89.3
凶器準備 集 合	検挙件数	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—
	検挙人員	—	—	—	—	—	—	27	—	—	—
	検 挙 率	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—
暴 行	検挙件数	529	656	670	635	574	688	845	1,122	976	998
	検挙人員	531	664	693	642	570	664	874	1,207	1,055	1,107
	検 挙 率	81.4	87.5	83.5	82.3	87.4	86.0	91.3	92.3	94.0	89.7
傷 害	検挙件数	568	613	490	494	550	561	605	652	545	579
	検挙人員	627	691	545	584	635	598	654	699	594	619
	検 挙 率	75.1	78.7	77.8	78.9	75.7	84.9	83.2	88.0	84.9	91.5
脅 迫	検挙件数	50	46	70	65	56	68	110	93	82	60
	検挙人員	50	40	45	57	45	62	86	82	71	53
	検 挙 率	65.8	62.2	90.9	74.7	84.8	79.1	80.3	86.9	88.2	78.9
恐 喝	検挙件数	109	99	101	101	69	65	66	54	39	42
	検挙人員	132	135	112	119	68	79	77	45	72	63
	検 挙 率	56.2	64.3	75.9	90.2	86.3	79.3	78.6	85.7	81.3	71.2

ウ 窃 盗 犯

窃盗犯の検挙件数は4,786件で、対前年比745件（13.5%）、検挙人員は2,784人で、対前年比505人（15.4%）といずれも減少した。

過去10年間における窃盗犯検挙件数等の状況は、第21表のとおりである。

第21表 窃盗犯検挙状況表（10年間）

手 口	区 分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
総 数	検挙件数	10,255	8,239	9,367	8,340	7,635	6,351	6,204	5,930	5,531	4,786
	検挙人員	4,588	4,804	5,268	4,990	4,100	3,850	3,431	3,442	3,289	2,784
	検 挙 率	33.3	27.6	34.8	34.3	34.8	34.3	37.3	38.3	37.7	36.0
侵入窃盗	検挙件数	1,259	1,191	1,757	1,368	1,540	926	968	852	771	784
	検挙人員	209	191	215	183	155	174	131	135	131	115
	検 挙 率	36.5	34.6	56.0	48.7	64.8	48.7	49.2	53.7	39.0	49.5
乗り物盗	検挙件数	1,171	959	996	850	999	663	713	545	560	412
	検挙人員	606	628	588	509	477	378	296	251	258	213
	検 挙 率	11.0	9.3	11.2	11.0	13.5	11.2	13.3	11.3	13.4	11.2
非侵入窃盗	検挙件数	7,825	6,089	6,614	6,122	5,096	4,762	4,523	4,533	4,200	3,590
	検挙人員	3,773	3,985	4,465	4,298	3,468	3,298	3,004	3,056	2,900	2,456
	検 挙 率	46.8	37.7	44.6	44.3	41.8	44.5	48.6	50.0	49.3	44.6

注 非侵入窃盗は乗り物盗を除く。

エ 知 能 犯

知能犯の検挙件数は533件で、対前年比62件（13.2%）増加し、検挙人員は333人で、対前年比60人（15.3%）減少した。

過去10年間における知能犯検挙件数等の状況は、第22表のとおりである。

第22表 知能犯検挙状況表（10年間）

罪 種	区 分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
総 数	検挙件数	847	814	690	697	694	630	496	533	471	533
	検挙人員	490	460	473	470	505	433	391	415	393	333
	検 挙 率	56.3	67.6	55.8	69.8	71.3	64.4	56.4	59.2	49.1	51.9
うち) 詐 欺	検挙件数	746	676	594	611	616	546	445	477	420	461
	検挙人員	408	359	383	404	423	361	326	354	340	270
	検 挙 率	56.3	65.0	55.2	68.1	70.5	62.1	54.7	57.6	47.5	49.4
うち) 横 領	検挙件数	40	38	26	31	33	43	22	18	17	31
	検挙人員	41	29	27	24	24	31	19	19	16	31
	検 挙 率	76.9	95.0	54.2	81.6	80.5	82.7	88.0	78.3	51.5	77.5
うち) 偽 造	検挙件数	60	97	65	53	41	36	29	37	31	39
	検挙人員	40	68	56	37	53	38	44	41	32	31
	検 挙 率	47.2	79.5	60.2	86.9	74.5	85.7	74.4	77.1	79.5	81.3

オ 風 俗 犯

風俗犯の検挙件数は156件で、対前年比24件（18.2%）、検挙人員は113人で、対前年比19人（20.2%）といずれも増加した。

過去10年間における風俗犯検挙件数等の状況は、第23表のとおりである。

第23表 風俗犯検挙状況表（10年間）

罪 種	区 分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
総 数	検挙件数	215	184	184	165	139	145	173	147	132	156
	検挙人員	129	130	150	142	118	117	127	133	94	113
	検 挙 率	65.0	63.2	71.6	62.5	56.5	62.8	75.5	63.9	68.0	67.0
賭 博	検挙件数	45	12	2	2	—	1	14	—	3	—
	検挙人員	23	33	25	9	—	4	20	—	6	—
	検 挙 率	97.8	92.3	100.0	100.0	—	100.0	87.5	—	100.0	—
強 制 わいせつ	検挙件数	100	102	117	83	83	86	85	85	82	89
	検挙人員	54	52	69	57	62	64	64	69	59	64
	検 挙 率	51.3	55.1	66.1	55.0	44.6	57.3	70.8	59.0	60.7	65.9
その他の わいせつ	検挙件数	70	70	65	80	56	58	74	62	47	67
	検挙人員	52	45	56	76	56	49	43	64	29	49
	検 挙 率	77.8	75.3	83.3	72.1	93.3	72.5	79.6	72.1	83.9	68.4

(4) 犯行の動機・原因別検挙状況

刑法犯の検挙件数7,847件中、主な罪種の犯行の動機・原因は、第24表のとおりである。

第24表 犯行の動機・原因別検挙件数表

罪 種	総 数	うち) 生 活 困 窮	うち) 遊 興 費 充 当	うち) 一 時 的 盗 用	うち) そ の 他 の 利 欲	うち) 怨 恨	うち) 性 的 欲 求	うち) 遊 び ・ 好 奇 心	うち) 自 己 顕 示
総 数	(100.0) 7,847	(19.9) 1,559	(7.7) 608	(1.4) 112	(4.3) 337	(1.1) 84	(4.6) 362	(1.6) 122	(0.1) 10
うち) 強 盗	(100.0) 47	(23.4) 11	(2.1) 1	(—) —	(6.4) 3	(2.1) 1	(—) —	(2.1) 1	(—) —
うち) 恐 喝	(100.0) 42	(14.3) 6	(14.3) 6	(—) —	(16.7) 7	(2.4) 1	(—) —	(4.8) 2	(—) —
うち) 窃 盗	(100.0) 4,616	(27.8) 1,283	(10.5) 483	(2.1) 99	(4.4) 205	(0.1) 5	(3.2) 150	(1.6) 73	(0.0) 1
うち) 詐 欺	(100.0) 461	(37.1) 171	(18.4) 85	(—) —	(13.4) 62	(—) —	(—) —	(0.2) 1	(0.2) 1
うち) 横 領	(100.0) 31	(22.6) 7	(6.5) 2	(—) —	(19.4) 6	(—) —	(—) —	(—) —	(—) —

注1 ()内は、総数に対する構成比を示す。

注2 解決事件を除く。

第2 特別法犯

特別法犯（交通関係法令違反を除く）の検挙状況は、第25表のとおりである。

検挙件数は1,860件で、対前年比76件（4.3%）、送致人員は1,671人で、対前年比92人（5.8%）といずれも増加した。

第25表 特別法犯検挙件数・人員表（前年比較）

区 分	平成30	平成29	増 減	
			件数・人員	%
検 挙 件 数	1,860	1,784	76	4.3
送 致 人 員	1,671	1,579	92	5.8
他 機 関 引 継 人 員	25	30	-5	-16.7

主要法令違反の検挙状況は、第26表のとおりで、件数では「覚せい剤取締法」が386件（構成比20.8%）で最も多く、次いで、「大麻取締法」163件（構成比8.8%）、「廃棄物処理法」153件（構成比8.2%）の順になっている。

一方、人員では「覚せい剤取締法」が275人（構成比16.5%）で最も多く、次いで、「廃棄物処理法」167人（構成比10.0%）、「大麻取締法」115人（構成比6.9%）の順となっている。

第26表 特別法犯主要違反法令別検挙件数・人員表（前年比較）

違 反 法 令	検 挙 件 数				送 致 人 員			
	平成30	平成29	増 減		平成30	平成29	増 減	
			件数	%			人員	%
公 職 選 挙 法	3	—	3	300.0	4	—	4	400.0
出入国管理及び難民認定法	119	136	-17	-12.5	74	86	-12	-14.0
風 営 適 正 化 法	43	49	-6	-12.2	114	72	42	58.3
売 春 防 止 法	1	1	—	—	1	1	—	—
青少年保護育成条例	54	49	5	10.2	47	47	—	—
銃砲刀剣類所持等取締法	93	105	-12	-11.4	74	83	-9	-10.8
大 麻 取 締 法	163	173	-10	-5.8	115	112	3	2.7
覚 せ い 剤 取 締 法	386	332	54	16.3	275	258	17	6.6
毒 物 劇 物 取 締 法	4	6	-2	-33.3	4	5	-1	-20.0
廃 棄 物 処 理 法	153	160	-7	-4.4	167	183	-16	-8.7

過去10年間における主要な法令違反の検挙件数及び送致人員は、第27表、第28表のとおりである。

第27表 特別法犯主要違反法令別検挙件数状況表（10年間）

違反法令	年 次									
	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
公職選挙法	2	2	2	—	8	—	5	1	—	3
出入国管理及び難民認定法	311	266	175	103	134	106	78	60	136	119
風営適正化法	139	150	156	137	179	206	154	52	49	43
売春防止法	7	4	6	3	8	2	5	—	1	1
青少年保護育成条例	84	67	70	75	77	66	60	36	49	54
銃砲刀剣類所持等取締法	106	123	120	102	107	75	88	87	105	93
大麻取締法	137	104	84	93	77	71	88	145	173	163
覚せい剤取締法	516	464	526	490	414	338	362	371	332	386
毒物劇物取締法	25	20	10	11	9	8	11	4	6	4
廃棄物処理法	190	174	182	177	182	175	173	162	160	153

第28表 特別法犯主要違反法令別送致人員状況表（10年間）

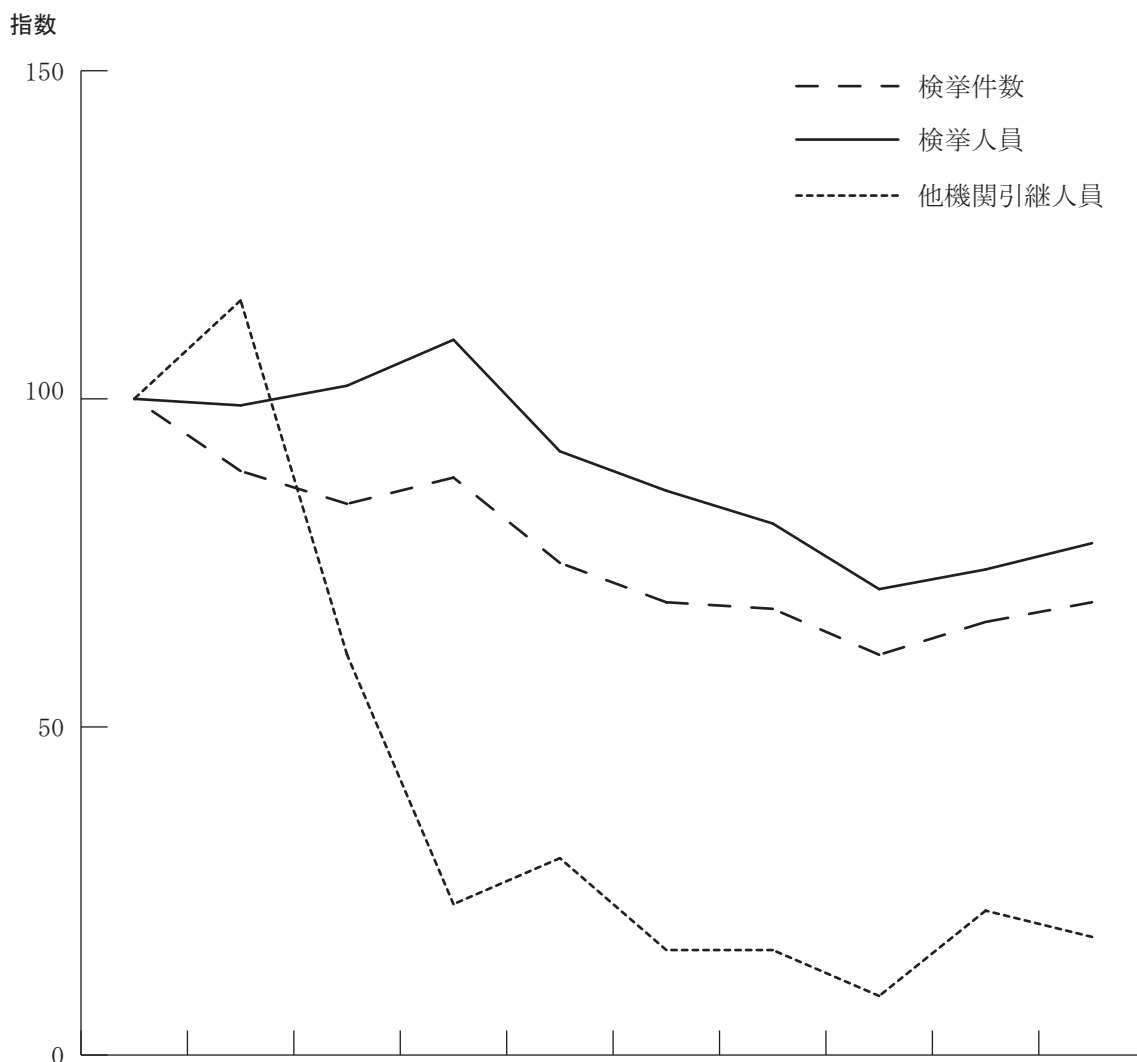
違反法令	年 次									
	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
公職選挙法	31	9	4	—	5	—	35	1	—	4
出入国管理及び難民認定法	141	83	67	60	82	54	42	44	86	74
風営適正化法	209	209	211	199	238	240	189	84	72	114
売春防止法	6	5	8	3	8	1	1	—	1	1
青少年保護育成条例	87	65	70	71	72	63	49	34	47	47
銃砲刀剣類所持等取締法	78	98	95	83	93	65	66	70	83	74
大麻取締法	115	85	64	78	62	55	64	107	112	115
覚せい剤取締法	431	413	443	418	350	272	312	286	258	275
毒物劇物取締法	26	19	11	11	9	6	11	1	5	4
廃棄物処理法	226	211	219	202	193	221	200	191	183	167

【参考】 特別法犯他機関引継人員状況表（10年間）

違反法令	年 次									
	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
出入国管理及び難民認定法	138	159	84	32	42	22	22	13	30	25

過去10年間における特別法犯検挙状況の推移は、第20図のとおりである。

第20図 特別法犯検挙状況の推移（10年間）



年次	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
検挙件数	(100) 2,701	(89) 2,394	(84) 2,268	(88) 2,370	(75) 2,034	(69) 1,868	(68) 1,836	(61) 1,636	(66) 1,784	(69) 1,860
検挙人員	(100) 2,135	(99) 2,107	(102) 2,169	(109) 2,317	(92) 1,970	(86) 1,839	(81) 1,738	(71) 1,512	(74) 1,579	(78) 1,671
うち 少年	(100) 127	(131) 167	(143) 182	(172) 219	(115) 146	(104) 132	(81) 103	(80) 101	(60) 76	(50) 63
他機関引継人員	(100) 138	(115) 159	(61) 84	(23) 32	(30) 42	(16) 22	(16) 22	(9) 13	(22) 30	(18) 25

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

第3 少年犯罪

1 犯罪少年

(1) 刑法犯検挙状況

刑法犯における犯罪少年の検挙人員は559人で、対前年比119人（17.6%）減少した。

包括罪種別の検挙人員は、第29表のとおりである。

第29表 刑法犯犯罪少年包括罪種別検挙人員表（前年比較）

罪 種	平 成 30		平 成 29		増 減	
	数	構 成 比	数	構 成 比	人 員	%
総 数	559	100.0	678	100.0	-119	-17.6
凶 悪 犯	10	1.8	4	0.6	6	150.0
粗 暴 犯	123	22.0	94	13.9	29	30.9
窃 盗 犯	312	55.8	444	65.4	-132	-29.7
知 能 犯	23	4.1	26	3.8	-3	-11.5
風 俗 犯	19	3.4	10	1.5	9	90.0
その他の刑法犯	72	12.9	100	14.7	-28	-28.0

過去10年間における検挙人員は、第30表のとおりである。

全検挙人員に占める少年の割合は9.7%で、成人を4,640人下回った。

第30表 刑法犯犯罪少年男女別検挙人員表（10年間）

区 分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
検 挙 人 員	1,942	1,872	1,824	1,605	1,405	1,108	928	808	678	559
男	1,584	1,493	1,477	1,315	1,162	931	798	704	563	474
女	358	379	347	290	243	177	130	104	115	85
全検挙人員中に占める 少年の割合（%）	23.8	22.3	21.1	19.6	19.5	16.4	14.3	11.9	10.7	9.7

少年事件及び成人との共犯事件の包括罪種別検挙件数は、第31表のとおりである。

第31表 刑法犯犯罪少年包括罪種別検挙件数表（前年比較）

罪 種	平成 30 年		平成 29 年		増 減			
	少年事件	少年・成人 共犯事件	少年事件	少年・成人 共犯事件	少年事件	%	少年・成人共犯事件	%
総 数	607	56	779	41	-172	-22.1	15	36.6
凶 悪 犯	10	-	3	-	7	233.3	-	-
粗 暴 犯	95	10	76	3	19	25.0	7	233.3
窃 盗 犯	358	29	552	20	-194	-35.1	9	45.0
うち) 侵入窃盗	19	12	43	2	-24	-55.8	10	500.0
うち) 非侵入窃盗	227	17	307	18	-80	-26.1	-1	-5.6
知 能 犯	37	13	30	15	7	23.3	-2	-13.3
風 俗 犯	23	-	15	-	8	53.3	-	-
そ の 他 の 刑 法 犯	84	4	103	3	-19	-18.4	1	33.3

注 非侵入窃盗は乗り物盗を除く。

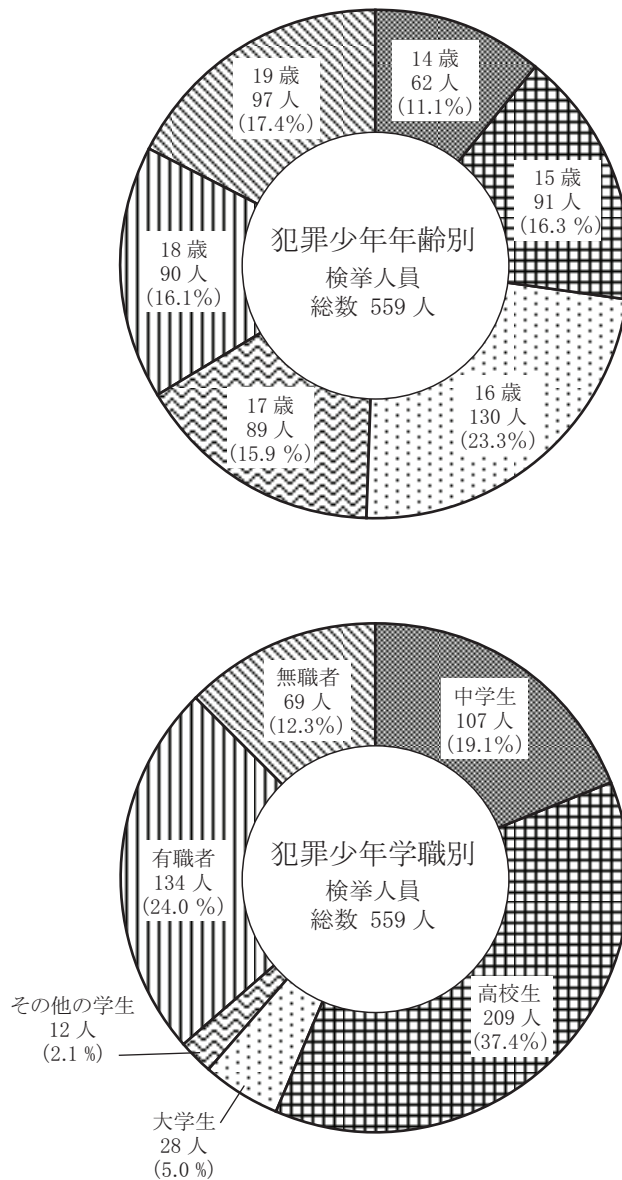
(2) 刑法犯犯罪少年の年齢・学職別状況

犯罪少年の年齢別・学職別状況は第21図のとおりである。

年齢別では、16歳が130人（23.3%）で最も多く、次いで19歳の97人（17.4%）、以下15歳、18歳、17歳、14歳の順となっている。

また、学職別では高校生が209人（37.4%）で最も多く、次いで有職者の134人（24.0%）、以下中学生、無職者、大学生、その他の学生の順となっている。

第21図 刑法犯犯罪少年年齢別・学職別構成比



(3) 特別法犯検挙状況

特別法犯において検挙された犯罪少年は63人で、対前年比13人（17.1%）減少した。

主要違反法令別の検挙状況は、第32表のとおりである。

第32表 特別法犯犯罪少年主要違反法令別送致人員表（前年比較）

違反法令	平成30		平成29		増減	
	数	構成比	数	構成比	人員	%
総数	63	100.0	76	100.0	-13	-17.1
毒物劇物取締法	-	-	-	-	-	-
覚せい剤取締法	5	7.9	4	5.3	1	25.0
廃棄物処理法	5	7.9	7	9.2	-2	-28.6
銃砲刀剣類所持等取締法	-	-	4	5.3	-4	-100.0
青少年保護育成条例	4	6.3	3	3.9	1	33.3
その他	49	77.8	58	76.3	-9	-15.5

過去10年間における送致人員は、第33表のとおりである。

第33表 特別法犯犯罪少年送致人員表（10年間）

区分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
送致人員	127	167	182	219	146	132	103	101	76	63
男	95	133	134	167	129	112	80	88	67	61
女	32	34	48	52	17	20	23	13	9	2
全送致人員中に占める少年の割合（%）	5.9	7.9	8.4	9.5	7.4	7.2	5.9	6.7	4.8	3.8

2 触法少年

(1) 刑法犯補導状況

刑法犯における触法少年の補導状況は162人で、対前年比88人（35.2%）減少した。

包括罪種別の補導人員は、第34表のとおりである。

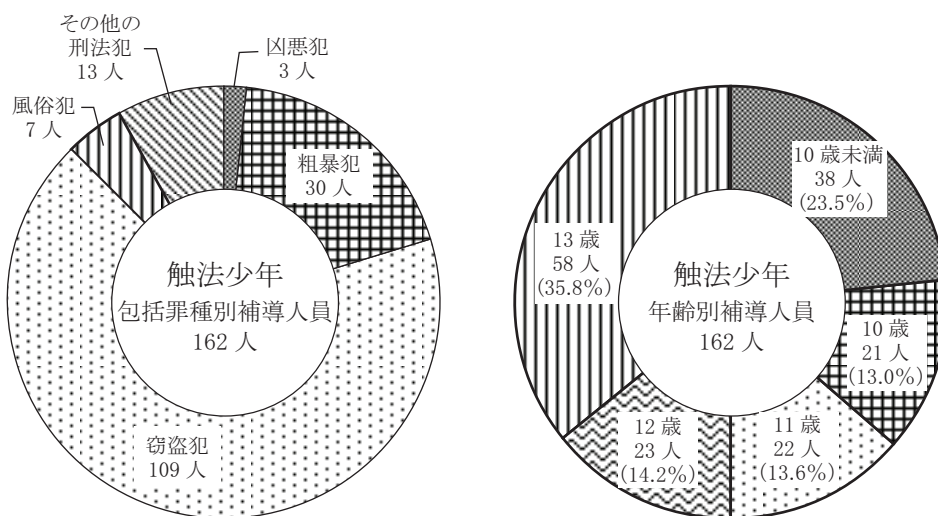
「風俗犯」が増加し、「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「その他の刑法犯」は減少した。

また、罪種別・年齢別の補導状況は、第22図のとおりである。

第34表 刑法犯触法少年包括罪種別補導人員表（前年比較）

罪種	平成 30		平成 29		増減	
	数	構成比	数	構成比	人員	%
総数	162	100.0	250	100.0	-88	-35.2
凶悪犯	3	1.9	4	1.6	-1	-25.0
粗暴犯	30	18.5	31	12.4	-1	-3.2
窃盗犯	109	67.3	181	72.4	-72	-39.8
知能犯	-	-	3	1.2	-3	-100.0
風俗犯	7	4.3	2	0.8	5	250.0
その他の刑法犯	13	8.0	29	11.6	-16	-55.2

第22図 刑法犯触法少年罪種別・年齢別補導人員の構成比



(2) 特別法犯補導状況

特別法犯における触法少年の補導人員は4人で、対前年比9人（69.2%）減少した。

主要違反法令別の補導人員は、第35表のとおりである。

第35表 特別法犯触法少年主要違反法令別補導人員（前年比較）

違反法令	平成30		平成29		増減	
	数	構成比	数	構成比	人員	%
総数	4	100.0	13	100.0	-9	-69.2
毒物劇物取締法	-	-	-	-	-	-
銃砲刀剣類所持等取締法	-	-	-	-	-	-
覚せい剤取締法	-	-	-	-	-	-
大麻取締法	-	-	-	-	-	-
その他	4	100.0	13	100.0	-9	-69.2

過去10年間における補導人員は、第36表のとおりである。

第36表 特別法犯触法少年補導人員表（10年間）

区分	平成21	平成22	平成23	平成24	平成25	平成26	平成27	平成28	平成29	平成30
補導人員	5	4	16	6	21	6	14	17	13	4
男	5	3	16	6	19	6	11	12	11	4
女	-	1	-	-	2	-	3	5	2	-

第4 暴力団犯罪

1 暴力団犯罪検挙状況

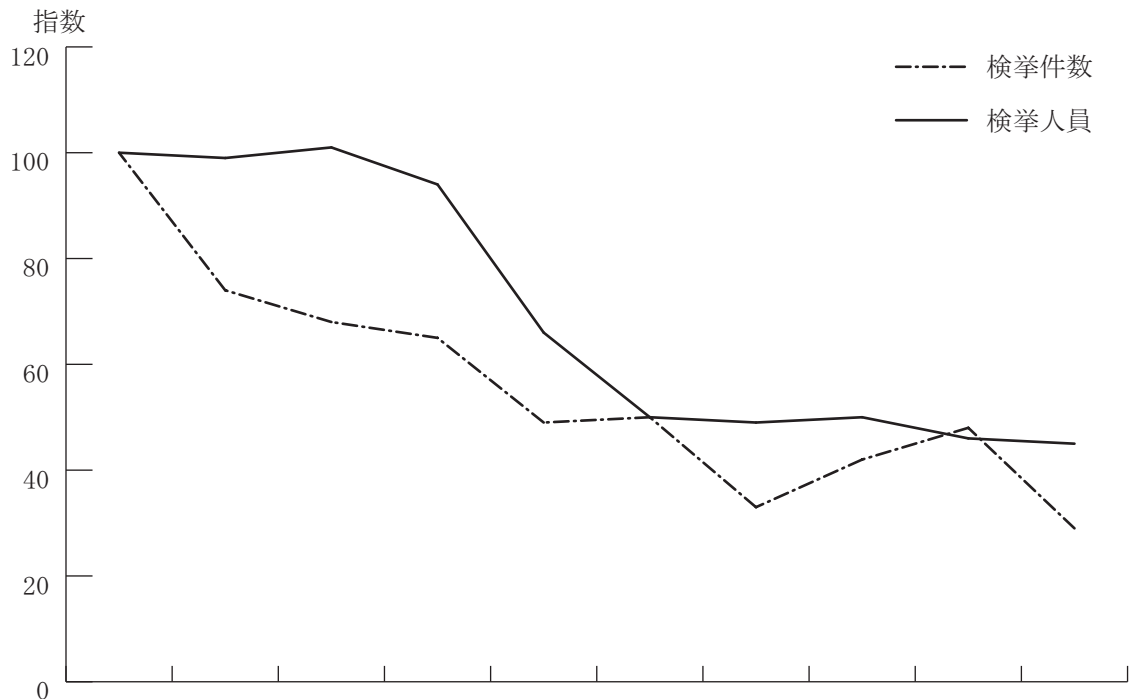
暴力団犯罪の検挙状況は、第23図のとおりである。

検挙件数は485件で、対前年比321件（39.8%）、検挙人員は407人で、対前年比14人（3.3%）といずれも減少した。

刑法犯では、検挙件数は272件で、対前年比331件（54.9%）、検挙人員は236人で、対前年比13人（5.2%）といずれも減少した。

特別法犯では、検挙件数は213件で、対前年比10件（4.9%）増加し、送致人員は171人で、対前年比1人（0.6%）減少した。

第23図 暴力団犯罪検挙状況の推移（10年間）



区分		年次									
		平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
検 挙 件 数		(100) 1,669	(74) 1,243	(68) 1,141	(65) 1,087	(49) 821	(50) 834	(33) 549	(42) 702	(48) 806	(29) 485
	検 挙 人 員	(100) 906	(99) 900	(101) 912	(94) 855	(66) 600	(50) 451	(49) 441	(50) 451	(46) 421	(45) 407
刑 法 犯	検 挙 件 数	781	846	647	632	493	595	336	469	603	272
	検 挙 人 員	478	546	497	458	306	256	274	264	249	236
特 別 法 犯	検 挙 件 数	888	397	494	455	328	239	213	233	203	213
	送 致 人 員	428	354	415	397	294	195	167	187	172	171

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

2 包括罪種別検挙状況

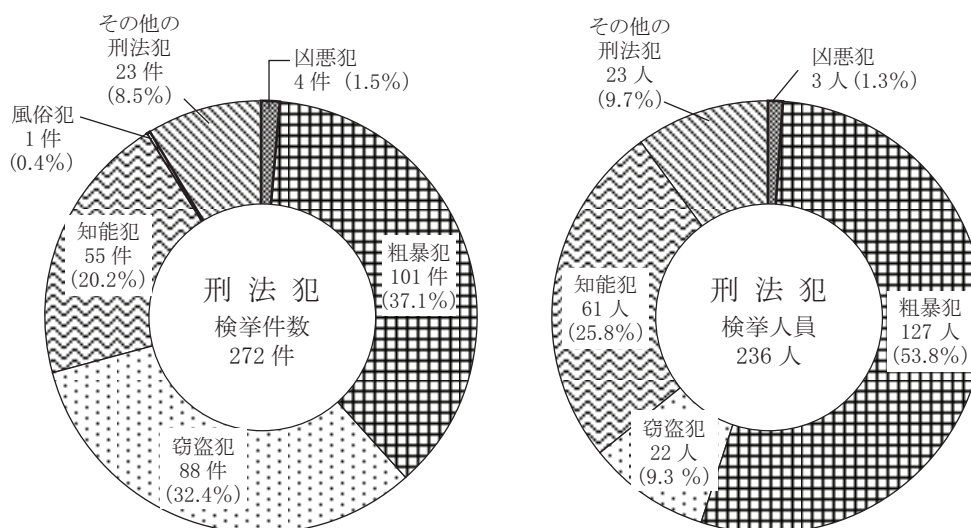
刑法犯における包括罪種別の検挙件数、検挙人員は第37表及び第24図のとおりである。

包括罪種別にみると、検挙件数は「凶悪犯」、「粗暴犯」、「知能犯」が増加し、検挙人員は「凶悪犯」、「粗暴犯」が増加した。

第37表 刑法犯暴力団犯罪包括罪種別検挙等状況表（前年比較）

罪 種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	平成30	平成29	増 減		平成30	平成29	増 減	
			件数	%			人員	%
総 数	272	603	-331	-54.9	236	249	-13	-5.2
凶 悪 犯	4	2	2	100.0	3	2	1	50.0
粗 暴 犯	101	96	5	5.2	127	122	5	4.1
窃 盗 犯	88	392	-304	-77.6	22	31	-9	-29.0
知 能 犯	55	51	4	7.8	61	62	-1	-1.6
風 俗 犯	1	5	-4	-80.0	-	8	-8	-100.0
そ の 他 の 刑 法 犯	23	57	-34	-59.6	23	24	-1	-4.2

第24図 刑法犯暴力団犯罪検挙件数・検挙人員の構成比



3 特別法犯主要違反法令別検挙状況

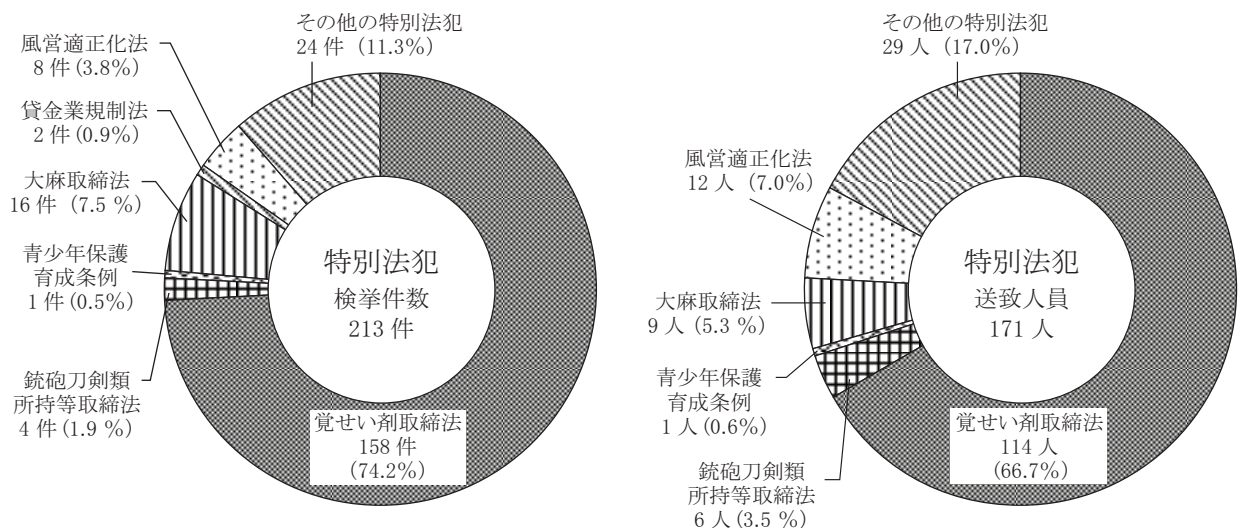
特別法犯における主要違反法令の検挙状況は、第38表及び第25図のとおりである。

「覚せい剤取締法」の検挙件数が158件、114人と最も多く、「大麻取締法」が16件、9人、「風営適正化法」が8件、12人の順で続く。

第38表 特別法犯暴力団犯罪主要違反法令別検挙等状況表（前年比較）

違反法令	検 挙 件 数				送 致 人 員			
	平成30	平成29	増 減		平成30	平成29	増 減	
			件数	%			人員	%
総 数	213	203	10	4.9	171	172	-1	-0.6
覚 せ い 剤 取 締 法	158	111	47	42.3	114	88	26	29.5
銃砲刀剣類所持等取締法	4	3	1	33.3	6	2	4	200.0
毒物劇物取締法	-	2	-2	-100.0	-	2	-2	-100.0
青少年保護育成条例	1	2	-1	-50.0	1	1	-	-
大 麻 取 締 法	16	30	-14	-46.7	9	21	-12	-57.1
売 春 防 止 法	-	-	-	-	-	-	-	-
貸 金 業 規 制 法	2	4	-2	-50.0	-	4	-4	-100.0
風 営 適 正 化 法	8	17	-9	-52.9	12	22	-10	-45.5
その他の特別法犯	24	34	-10	-29.4	29	32	-3	-9.4

第25図 特別法犯暴力団犯罪検挙件数・送致人員の構成比



第5 覚せい剤事犯

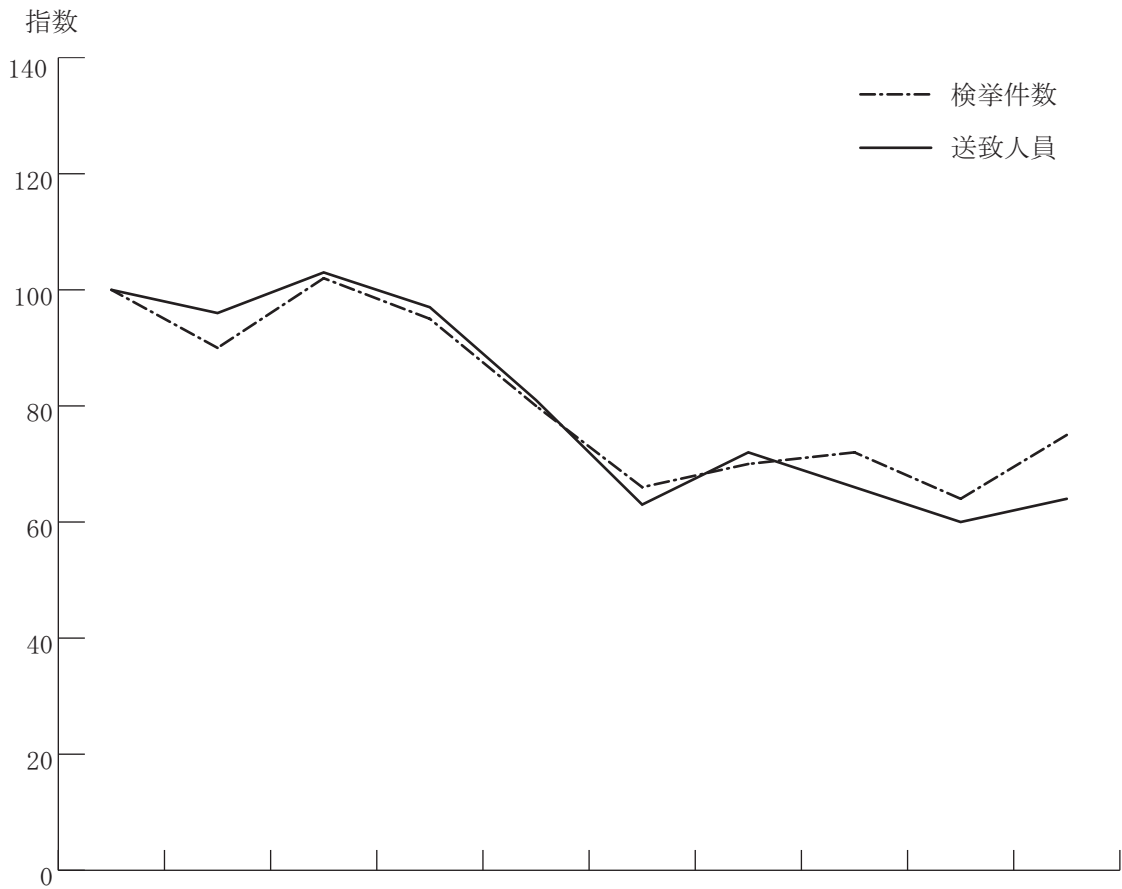
1 覚せい剤事犯検挙状況

特別法犯の検挙総数1,860件、送致人員1,671人のうち「覚せい剤取締法」違反の占める割合は、件数は386件（20.8%）、人員は275人（16.5%）である。

検挙件数は対前年比54件（16.3%）、送致人員は対前年比17人（6.6%）といずれも増加した。

過去10年間の検挙状況の推移は、第26図のとおりである。

第26図 覚せい剤事犯検挙状況の推移（10年間）



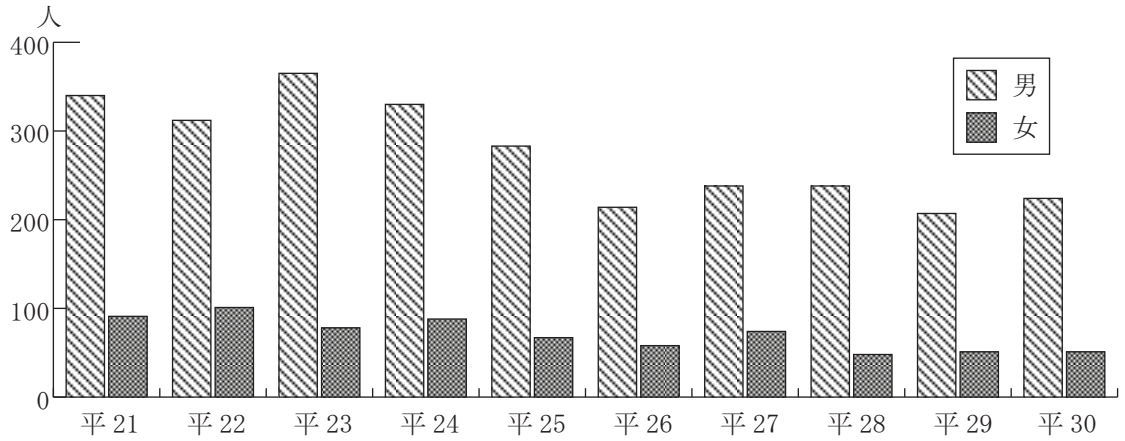
区分	年次									
	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
検挙件数	(100) 516	(90) 464	(102) 526	(95) 490	(80) 414	(66) 338	(70) 362	(72) 371	(64) 332	(75) 386
送致人員	(100) 431	(96) 413	(103) 443	(97) 418	(81) 350	(63) 272	(72) 312	(66) 286	(60) 258	(64) 275
男	340	312	365	330	283	214	238	238	207	224
女	91	101	78	88	67	58	74	48	51	51

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

2 男女別検挙状況

覚せい剤事犯における送致人員の男女別推移は、第27図のとおりであり、総数 275人のうち男性は224人であり、対前年比17人（8.2%）増加し、女性は51人で前年と同数であった。

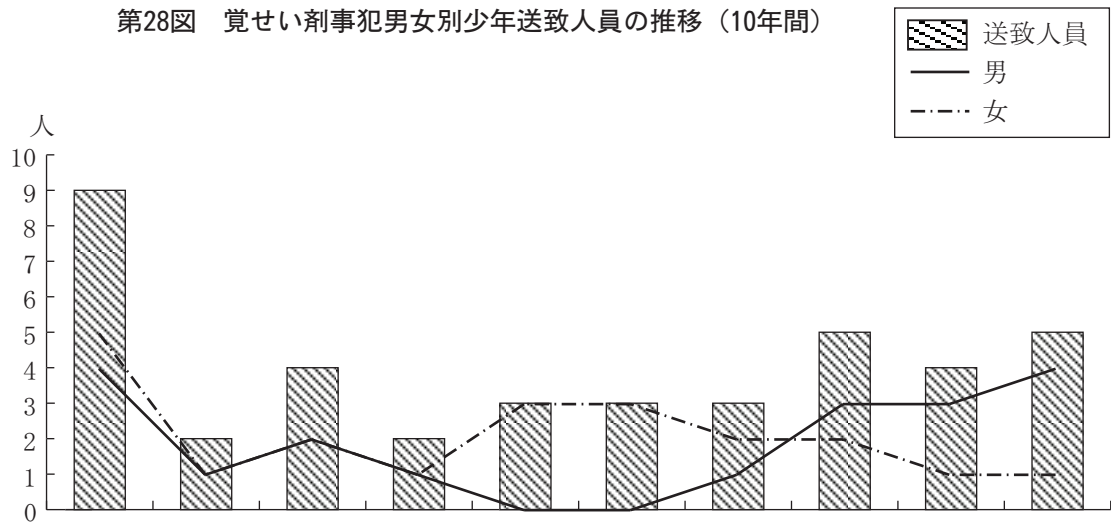
第27図 覚せい剤事犯男女別送致人員の推移（10年間）



3 少年検挙状況

覚せい剤事犯の送致人員275人のうち、少年は5人であり、対前年比1人（25.0%）増加した。過去10年間における送致人員の推移は、第28図のとおりである。

第28図 覚せい剤事犯男女別少年送致人員の推移（10年間）



年次	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
送致人員	(100)	(22)	(44)	(22)	(33)	(33)	(33)	(56)	(44)	(56)
男	9	2	4	2	3	3	3	5	4	5
女	4	1	2	1	—	—	1	3	3	4
女	5	1	2	1	3	3	2	2	1	1

注 （ ）内は、平成21年を100とした指数を示す。

第6 来日外国人犯罪

来日外国人犯罪の検挙件数は476件で、対前年比16件（3.3%）、検挙人員は311人で、対前年比20人（6.0%）といずれも減少した。

検挙状況は、第39表、第40表のとおりである。

第39表 来日外国人刑法犯罪種別検挙等状況表（前年比較）

罪 種	検 挙 件 数				検 挙 人 員			
	平成30	平成29	増 減		平成30	平成29	増 減	
			件数	%			人員	%
総 数	279	294	-15	-5.1	174	208	-34	-16.3
凶 悪 犯	5	6	-1	-16.7	3	6	-3	-50.0
粗 暴 犯	53	59	-6	-10.2	58	67	-9	-13.4
窃 盗 犯	161	168	-7	-4.2	85	80	5	6.3
知 能 犯	32	24	8	33.3	10	25	-15	-60.0
風 俗 犯	4	3	1	33.3	4	2	2	100.0
そ の 他 の 刑 法 犯	24	34	-10	-29.4	14	28	-14	-50.0

第40表 来日外国人特別法犯主要違反法令別検挙等状況表（前年比較）

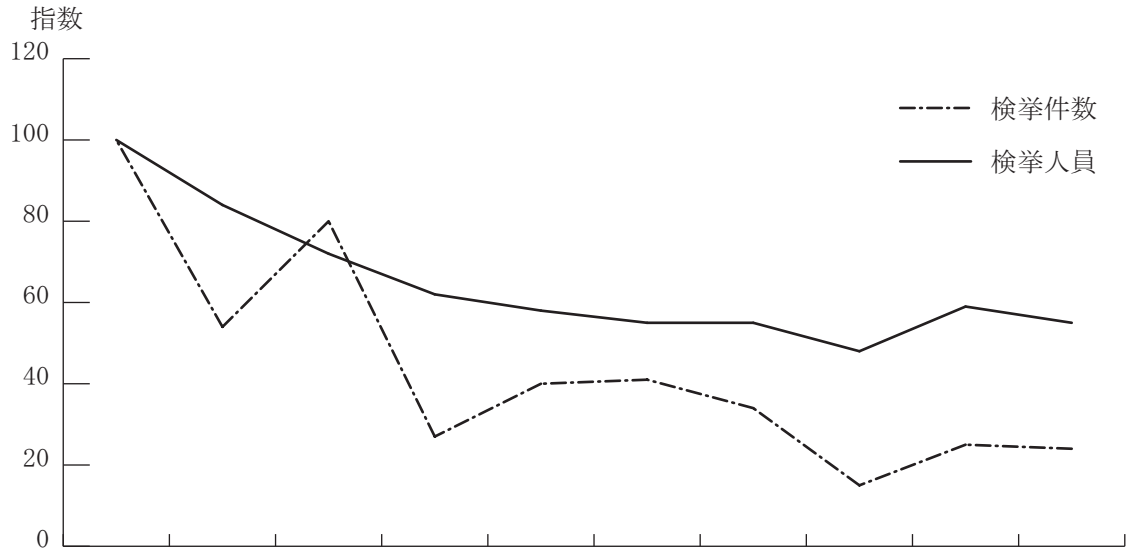
違 反 法 令	検 挙 件 数				送 致 人 員			
	平成30	平成29	増 減		平成30	平成29	増 減	
			件数	%			人員	%
総 数	197	198	-1	-0.5	137	123	14	11.4
出入国管理及び難民認定法	111	123	-12	-9.8	61	67	-6	-9.0
風 営 適 正 化 法	4	1	3	300.0	15	3	12	400.0
銃砲刀剣類所持等取締法	2	2	-	-	1	1	-	-
覚 せ い 剤 取 締 法	30	35	-5	-14.3	21	25	-4	-16.0
そ の 他 の 特 別 法 犯	50	37	13	35.1	39	27	12	44.4

違 反 法 令	他機関引継人員			
	平成30	平成29	増 減	
			人員	%
総 数	25	30	-5	-16.7
出入国管理及び難民認定法	25	30	-5	-16.7

注 来日外国人の検挙件数には、他機関引継ぎ・通報件数を含む。

過去10年間における来日外国人犯罪の検挙状況の推移は、第29図、第30図のとおりである。

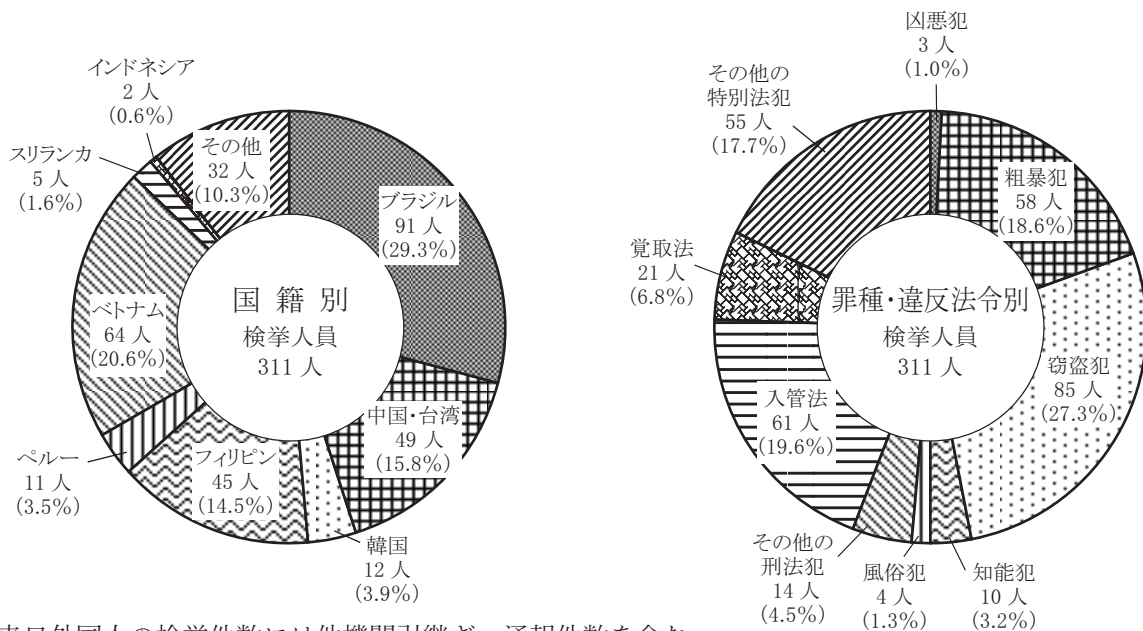
第29図 来日外国人犯罪検挙状況の推移（10年間）



区分	年次	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30
検挙件数	(指数)	(100)	(54)	(80)	(27)	(40)	(41)	(34)	(15)	(25)	(24)
	実数	1,968	1,063	1,573	534	787	800	664	301	492	476
検挙人員	(指数)	(100)	(84)	(72)	(62)	(58)	(55)	(55)	(48)	(59)	(55)
	実数	562	471	403	349	324	307	309	270	331	311
刑法犯	検挙件数	1,573	717	1,333	366	622	660	534	199	294	279
	検挙人員	325	304	262	211	208	214	212	194	208	174
特別法犯	検挙件数	395	346	240	168	165	140	130	102	198	197
	送致人員	237	167	141	138	116	93	97	76	123	137

注 () 内は、平成21年を100とした指数を示す。

第30図 来日外国人犯罪検挙人員国籍別、罪種・違反法令別検挙人員の構成比



注 来日外国人の検挙件数には他機関引継ぎ、通報件数を含む。